



Artiphon ORBA
製品マニュアル



Update your Orba

開封後は必ずOrbaのファームウェアを最新版にアップデートしてください。私たちは常に機能を追加し、Orbaを向上させています。ファームウェアを最新の状態に保つことは、このユニークな楽器が提供する最高のものを確実に手に入れるための最良の方法です。

ご注意: ファームウェアのアップデートは、USB接続されたOrbaデスクトップアプリからのみ行うことができます。ソフトウェアのダウンロードはこちらから

[MacOS](#)

[Windows](#)

Welcome!

ご購入ありがとうございます！あなたはOrbaを初めて体験する方の一人です。この新しい楽器では様々なことができます。電車に乗って通勤するときに、どれだけ小さなループを作れるか試してみるのもいいかもしれません。次のギグではOrbaをジェスチャー・シンセとして使うかもしれません。あるいは、Logic ProやAbleton Liveで作業しているトラックの中で、ソフトウェアシンセを演奏するためにOrbaを使うこともできます。

Orbaの使い方を計画しても、いくつかの疑問があるでしょう。なぜOrbaには8つのパッドしかないのか疑問に思うかもしれません。あるいは、この小さな点滅するライトが何を意味しているのか疑問に思っているかもしれません。あるいは、音量の上げ方を知りたいのかもしれません。

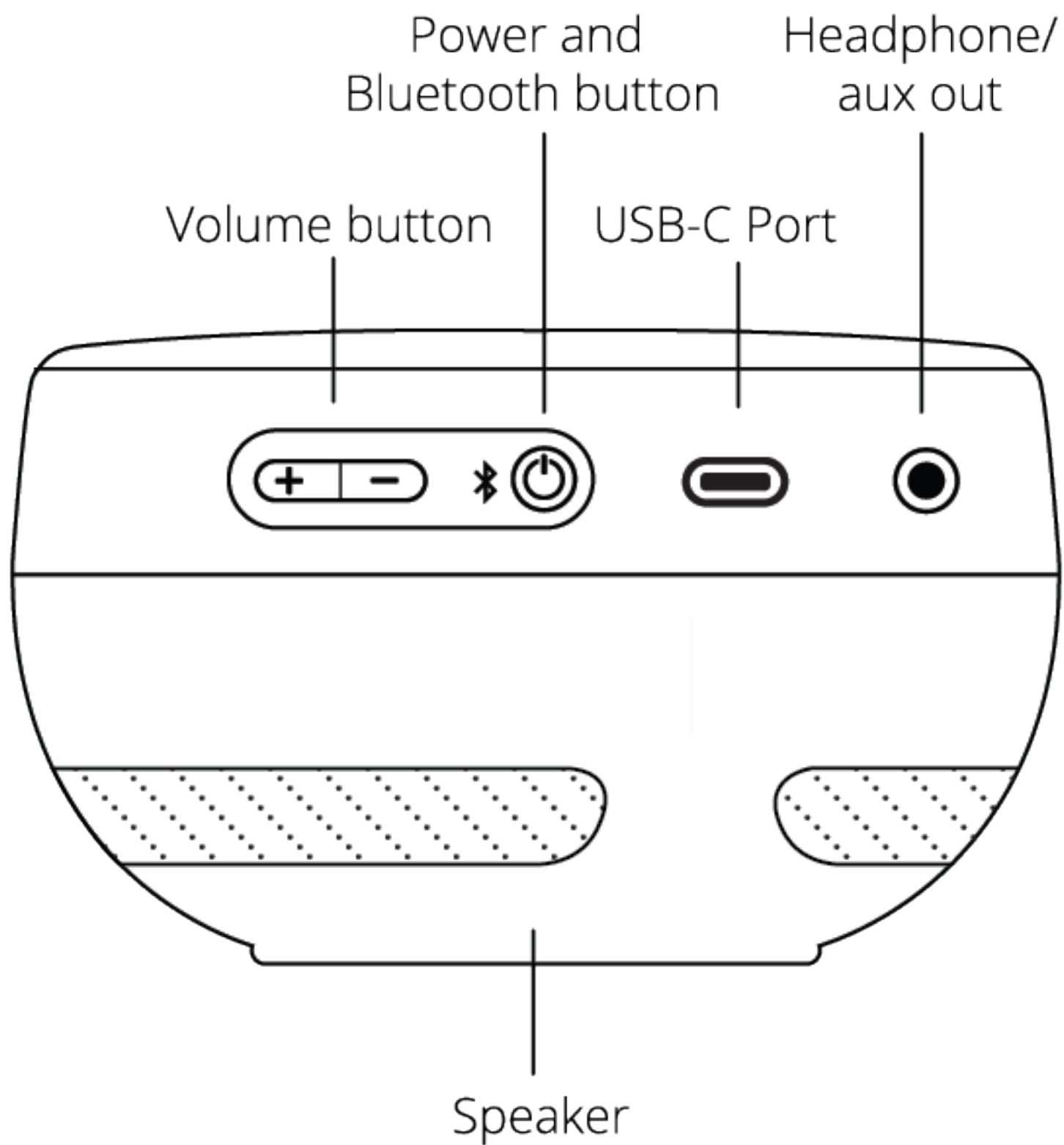
本ページは進化し続けるOrbaの公式ユーザーマニュアルです。ようこそ！

Product Overview

パッケージ内容

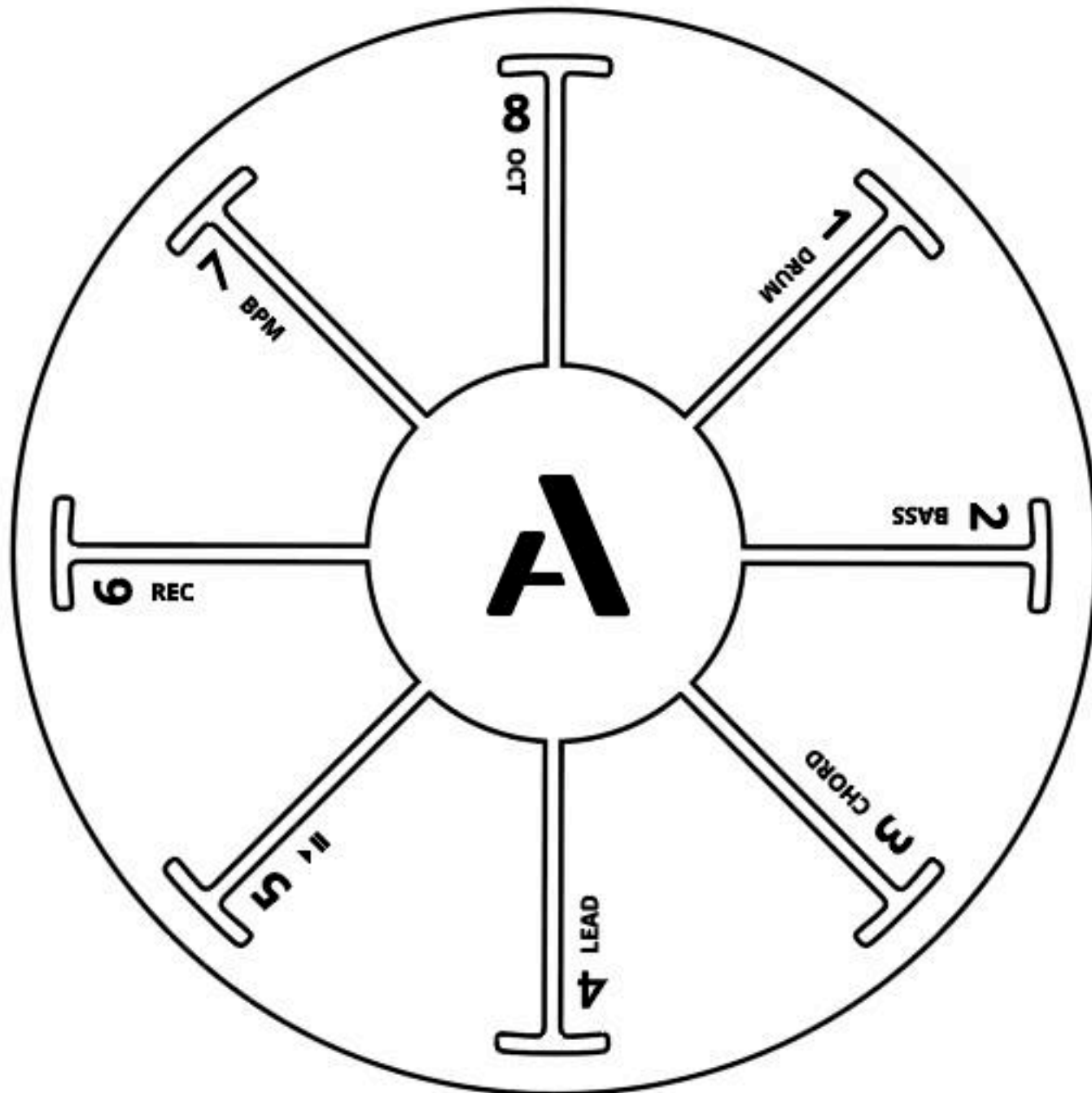
- Orba
- USB-C ケーブル
- Quickstart ガイド

Input/Output パネル



Volume	Orba本体からの出力ボリュームを調整します。
Power/Bluetooth Pairing	長押しして Orba の電源をオン/オフします。
USB-C Port	Orbaの内蔵バッテリーの充電および外部デバイスとして接続します。

Headphone Output	ヘッドフォンまたはスピーカー接続用の1/8" オーディオ出力端子。
Speaker	ロックン・ロール！



MODES	LOOP
1. DRUM	5. Play / Pause
2. BASS	6. REC - loopを録音
3. CHORD	7. BPM - テンポ調整
4. LEAD	8. OCT - オクターブ切り替え

Function シート

FUNCTION	COMBINATION
録音	A + Pad 6 (Rec)
ループの終端	A

録音停止	A + Pad 6 (Rec)
再生一時停止	A + Pad 5 (Play/Pause)
一時停止	A + Pad 5 (Play/Pause)
現在のモードでのループクリア	A + shake
全てをクリア	A + Pad 6 (Rec)を3秒間押し続けます。
BPM変更	A を押しながら Pad 7 を目的のテンポまでタップします。
オクターブ アップ	A を押しながら Pad 8を時計回りにスライドします。
オクターブ ダウン	A を押しながら Pad 8を反時計回りにスライドします。
次のモード	A
Drumに切り替え	A + Drum
Bassに切り替え	A + Bass
Chordに切り替え	A + Chord
Leadに切り替え	A + Lead
ハードウェアリセット	power + volume down を5秒間押し続けます。

Power

Orbaの充電

Orbaは、付属のUSB-Cケーブルを使用して、USBポートから充電することができます。携帯電話やパソコン用の充電器でも問題ありません。充電中もOrbaは完全に機能しているので、充電している間も演奏を続けることができます。

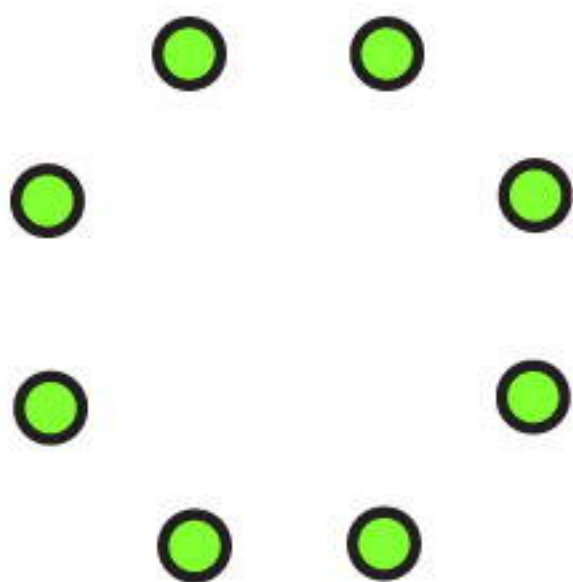
充電表示

Orbaを電源に接続して電源を入れると、パッド8に緑色のLEDが1つ点滅します。これはOrbaのバッテリーが充電中であることを示しています。Orbaの電源がオフの場合は何も点灯しませんが、充電の状態になっています。

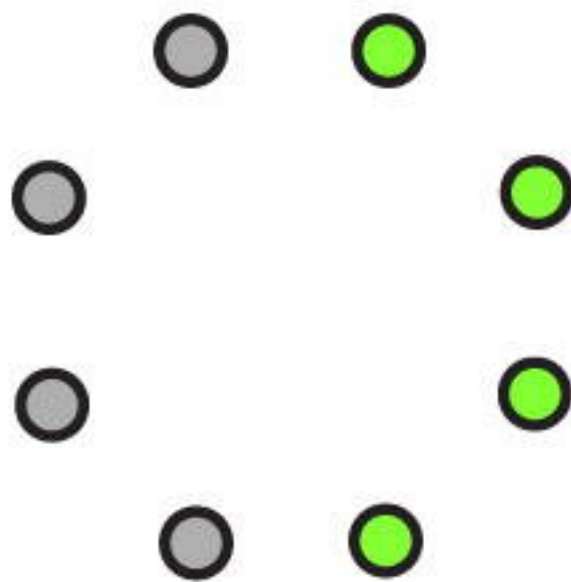
Orba 充電時の表示

バッテリーレベルのチェック

PWR ボタンをタップして Orba のバッテリー残量を確認します。Orbaの8つのパッドに緑色のLEDが連続して点灯しているのがわかります。8つのパッドがすべて点灯していれば、バッテリーは満タンになっています。バッテリー残量が減少すると、点灯している LED の数が 8 から 1 に減少します。また、Orba の電源が入ると、このように緑色の LED が表示されます。



Fully-charged

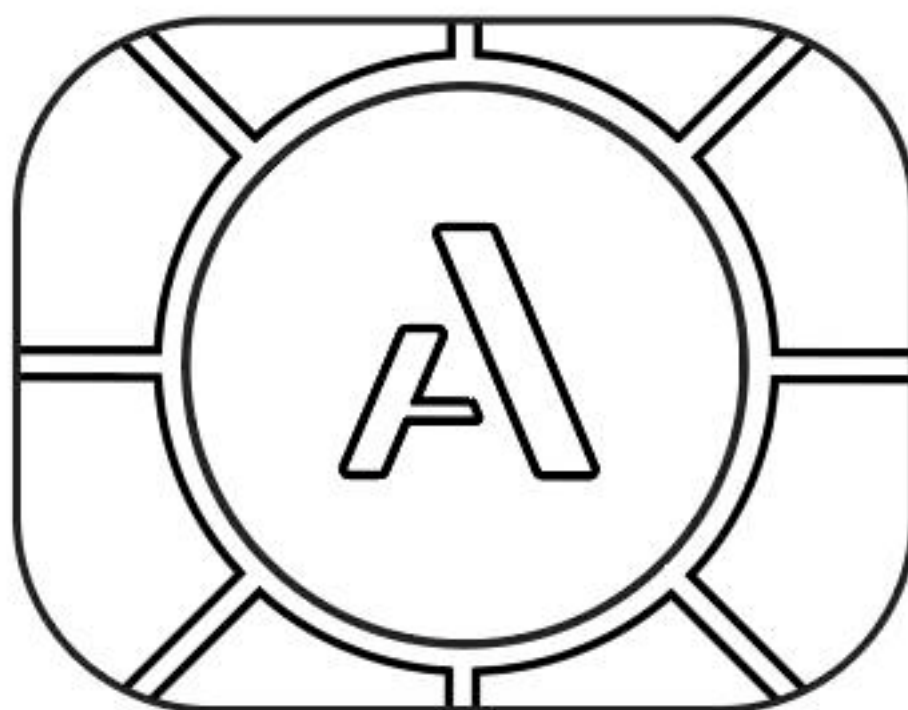


Half charged

バッテリー残量の低下

バッテリー残量が少なくなりすぎると、赤色LEDが5秒間点滅して自動的に電源が切れます。バッテリーが空の状態でもOrbaの電源を入れようとするすると、赤色LEDが5秒間点滅してから再び消灯します。

A ボタン



Aボタンは機能やメニューボタンです。Orbaで使用中、メニューを変更したいときは、いつでもAボタンを使って変更することができます。

Aボタンを1回タップするだけで、4つのメインモードが切り替わります。

Try it:

ドラムモードでスタートし、Aボタンを1回押すと、ベースモードになります。

A ボタンによるModesの切り替え

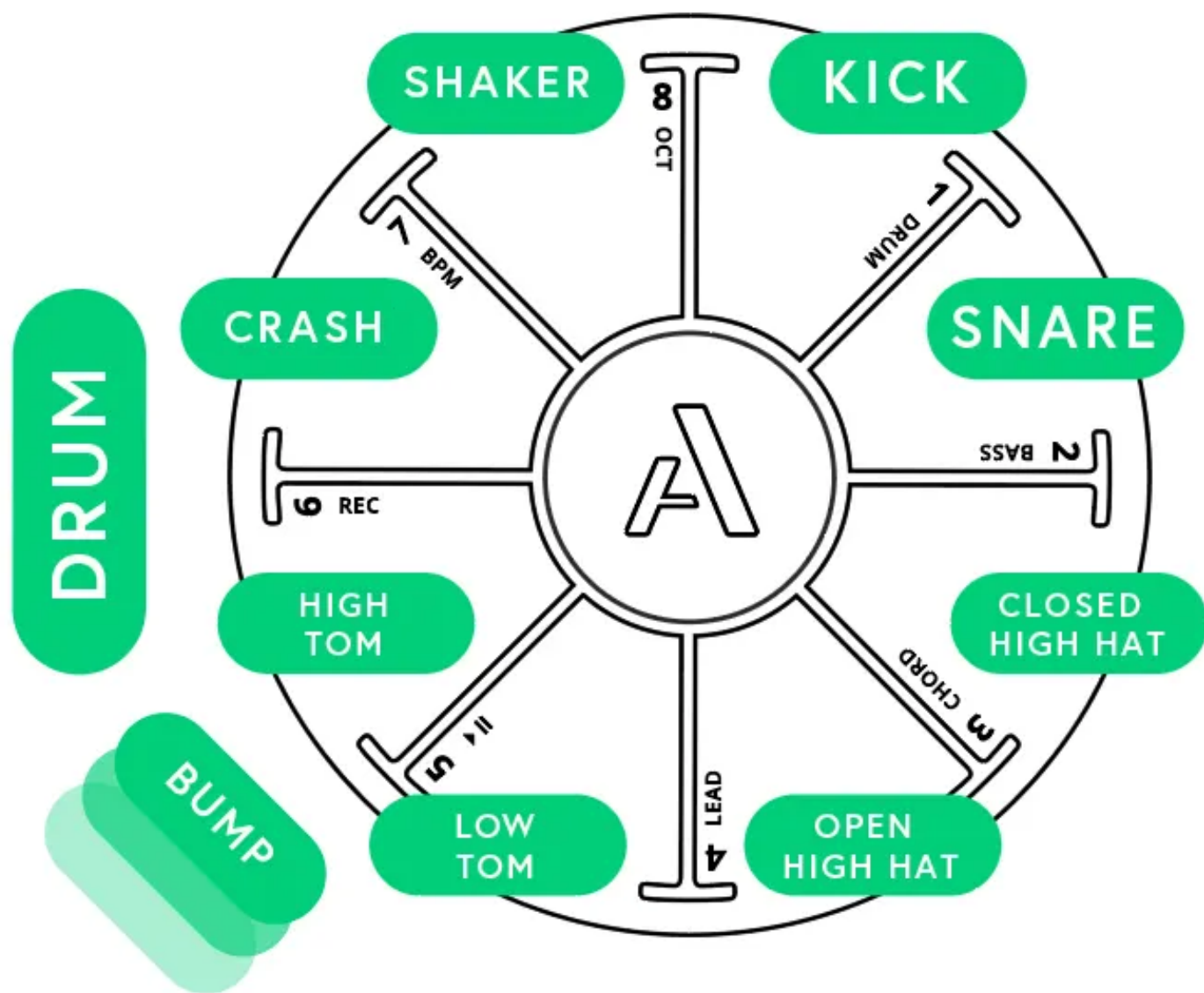
Orbaの8つのパッドのいずれかを押し、同時にAボタンを長押しすると、選択したモードになります。

Try it:

モード間を循環させたくない場合は、Aボタンを押したままそのモードのパッドを押すことで、任意のプレイモードに直接ジャンプすることができます。

Modes

--	--



DRUM

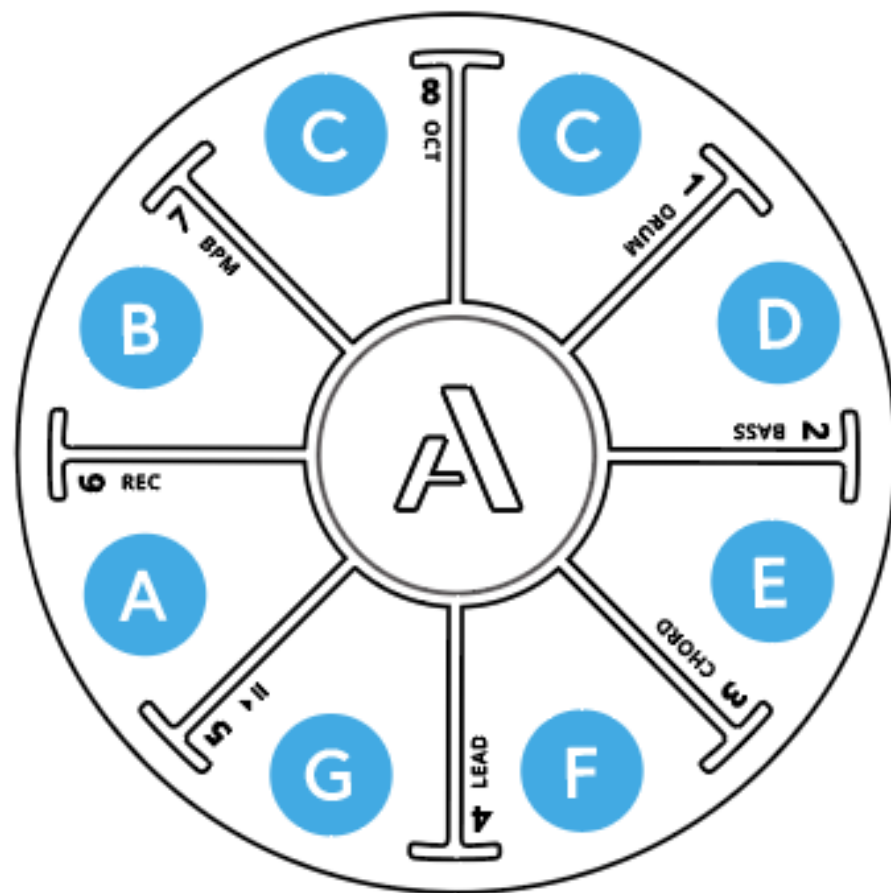
DRUMモードには9つの異なるドラムサウンドが用意されています：各パッドごとに1つ、さらにバンプジェスチャーでトリガーされる追加のドラムサウンドがあります。また、パッド8を押したままシェイクジェスチャーを使ってシェイカーサウンドをトリガーし続けることもできます。

ドラムはベロシティに敏感で、一般的なドラムを強く叩いたり柔らかく叩いたりして音色や音量を変えるのと同じように、叩く強さに応じて反応します。また、各パッドから指をどれだけ離すかによっても音は変化します。シンバルの上で指を止めて音を短くしたり、タムの上で素早くタップして離すと長いディケイを聞くことができます。

Try it

ドラムのベロシティとタイミングにより、ニュアンスのある演奏が可能です。例えば、同じパッドでもタッチの仕方を変えるだけで、オープンとクローズのハイハットサウンドを交互に鳴らすことができます。

BAS S

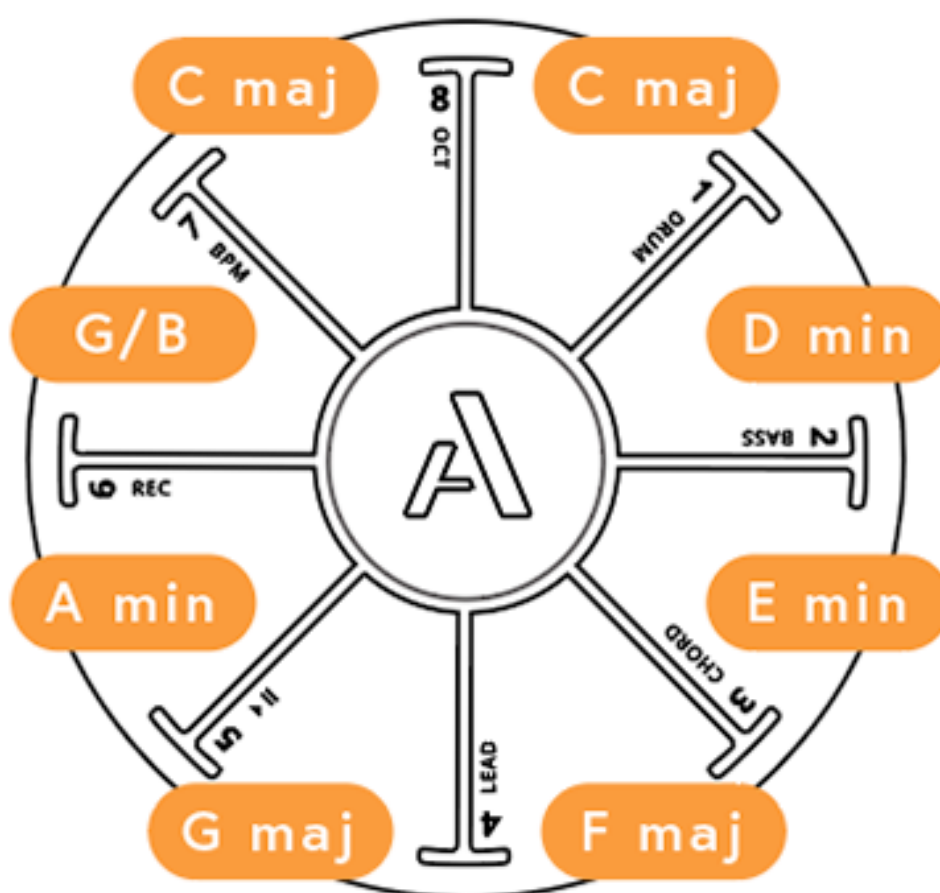


OrbaのBassモードはモノフォニックで、最新の音だけが発音されます（これをシンセサイザーでは「後発優先」と呼びます）。デフォルトでは、ベースはCメジャーダイアトニックスケールにチューニングされています。

Try it:

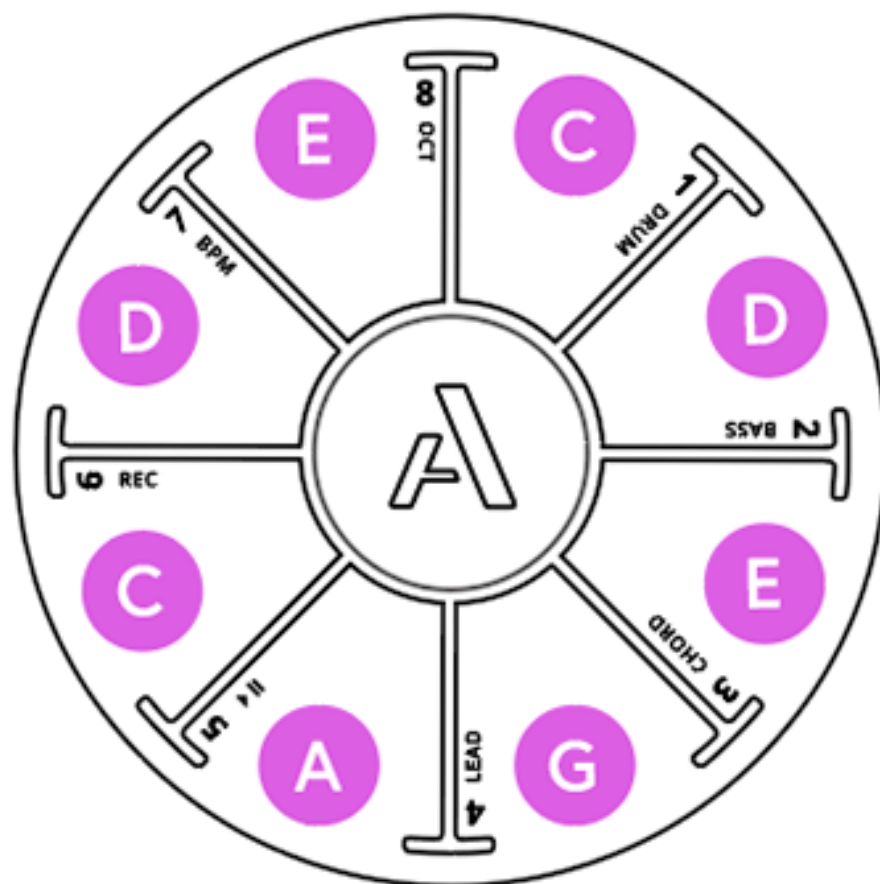
ベースは、様々なモーションジェスチャー、特にTiltやRadiateを試すのに最適なモードです。

CHORD



コードモードでは、Orbaの各パッドが複数の音を同時にトリガーして、曲のキーでコードを形成します。コードは、気軽に曲の構造を探ったり、新しいアイデアを素早く生み出すための楽しい方法です。ベースと同様に、ChordもTiltやRadiateのようなジェスチャーによく反応します。

LEAD



Leadはポリフォニックモードです（複数の異なる音を同時に演奏することができます）。Leadでは、パッドはペントニック・スケールにチューニングされています。これは1オクターブにつき5音の音階で、前に弾いたリズムに沿ったメロディを簡単に見つけることができます。

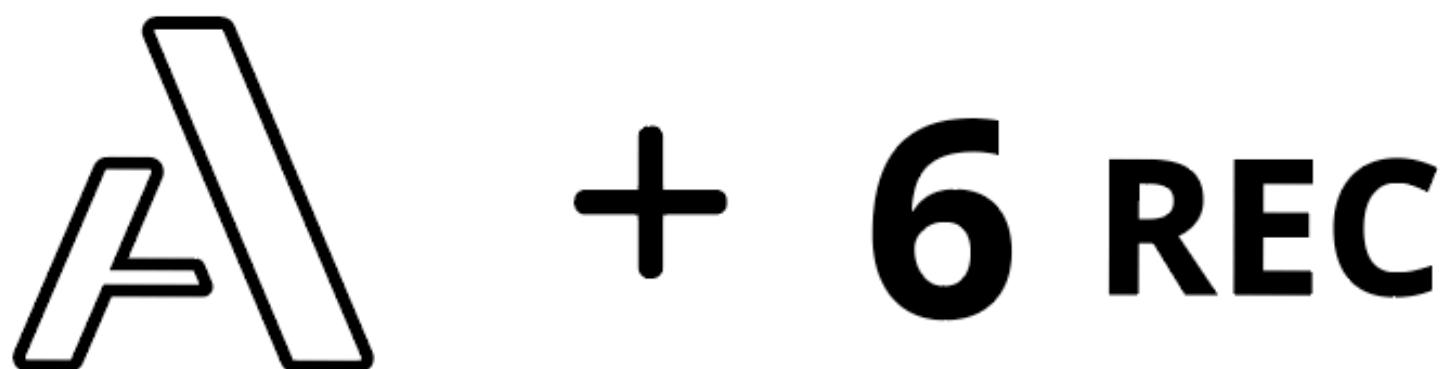
Looping

ルーピングは、楽しくて直感的な方法で、たくさんの音楽的なアイデアを素早く生み出すことができます。Orbaに内蔵されているルーパーを使えば、4つのモードすべてを録音して重ねることができ、さらにオーバーダブで音を追加することもできます。

Loopの開始

- **Loop**を始めるには
 - 4つのインストゥルメントモードから一つを選択します。
 - **A + Pad 6 (REC)** を押します。パッドを離すと、設定された添付のメトロノームが聞こえ、最初のループを演奏する準備

ができたことを意味します。メトロノームが始まっても、最初の音を演奏するまでループは録音されません。



- いくつかの音を録音して、ループを終了する準備ができたならAボタンをタップします。再生した音符は自動的に最初から再生されます。注意：曲の長さは常に最初に録音したループと同じ長さになります。

オーバーダビング

- 最初のループが再生されている間は、他のモードで追加のノートやループを重ねることができます。A + Pad 5 (Play/Pause) を押して曲を一時停止したり、A + Pad 6 (REC) を押して曲の再生中に録音を解除したりするまで、Orba はオーバーダブモードの状態になります。

Try it:

ドラムモードにてキックとスネアを乗せて、Aボタンを押してオーバーダビングを開始します。2回目のターンでハイハットを追加し、3回目でタムを追加します。グループに満足するまで、ドラムのビートを追加し続けます。

Playback/Pause

- 再生を一時停止または再開するには、A + Pad 5 - Play/Pauseボタンを一緒に押します。



Loopのクリア

- Loopを一つずつクリアする：

1. 再生を一時停止します (**A + Pad 5 - Play/Pause**)

2. クリアしたいモードを選択します。

3. **A + Pad - REC** を2 秒間押し続けます。または、**A**ボタンを押したままOrbaを振ることで、現在のループをクリアすることもできます。

- 注：Orbaアプリで**CLEAR**を押してループをクリアすることもできます。

- **Song**をクリアする (全てのLoopをクリア):

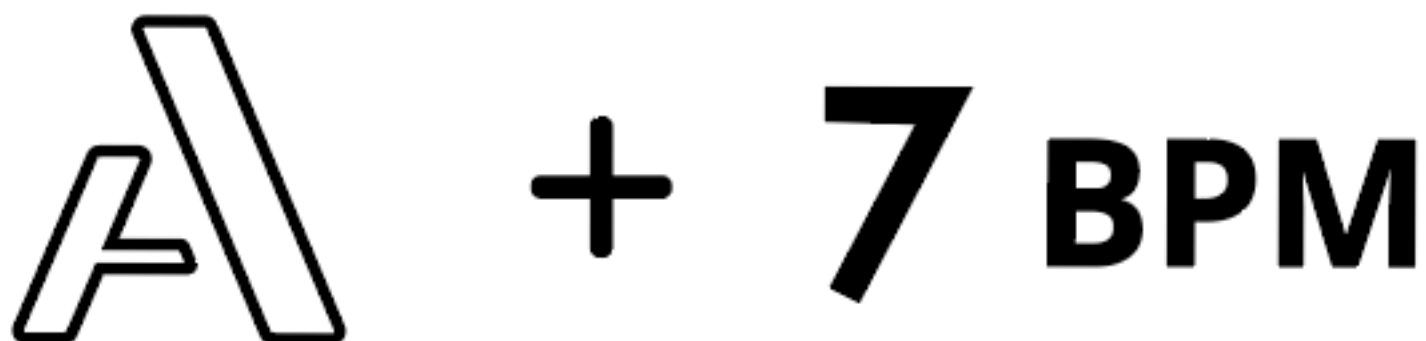
- **A + Pad 6 (REC)** を5秒間長押しします。または、**A + Pad 6 (REC)** を押したままOrbaを振って曲をクリアすることもできます。

テンポ調整

- Orbaのデフォルトのテンポは120 BPMです。曲のテンポを調整する方法はいくつかあります。

タップテンポ

1. **A**ボタンを押し続けます。
2. **Pad 7 (BPM)** を、目的のテンポまでタップします。



スライドでのテンポ変更

スライドジェスチャーを使ってテンポを細かく調整することもできます。

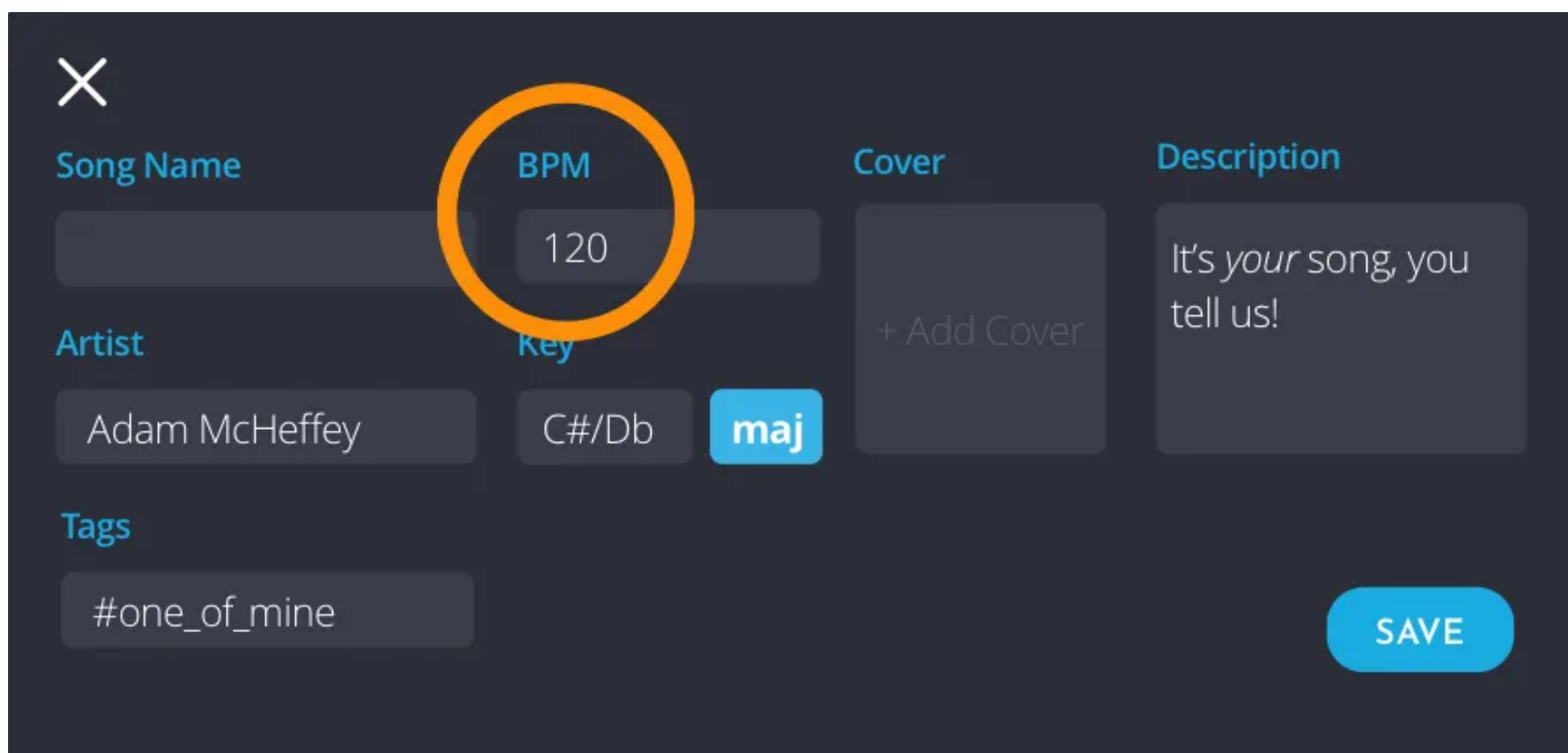
- **A + Pad 7 (BPM)** を押し続けます。
- BPM Padを上下にスライドさせます。

アプリケーションでのテンポ変更

特定のBPMに設定するには、Orba AppのSongウィンドウで希望のBPMを入力します。

- Orba appを起動します。
- Songを選択します。
- Transport バーの鉛筆アイコンを選択します。
- 目的のBPMをタイプします。

- SAVEをクリックします。



The screenshot shows the Orba app's song editing interface. At the top left is a close button (X). The interface is divided into several sections: Song Name, BPM, Cover, and Description. The BPM field is highlighted with an orange circle and contains the value '120'. Below Song Name is an empty text input field. Below Artist is a text input field containing 'Adam McHeffey'. Below Key is a dropdown menu showing 'C#/Db' and a blue button labeled 'maj'. Below Tags is a text input field containing '#one_of_mine'. The Cover section has a '+ Add Cover' button. The Description section has a text area containing 'It's your song, you tell us!'. At the bottom right is a blue 'SAVE' button.

Orbaのトランスポーズ

Octave変更

Orba本体でトランスポーズが行えます：

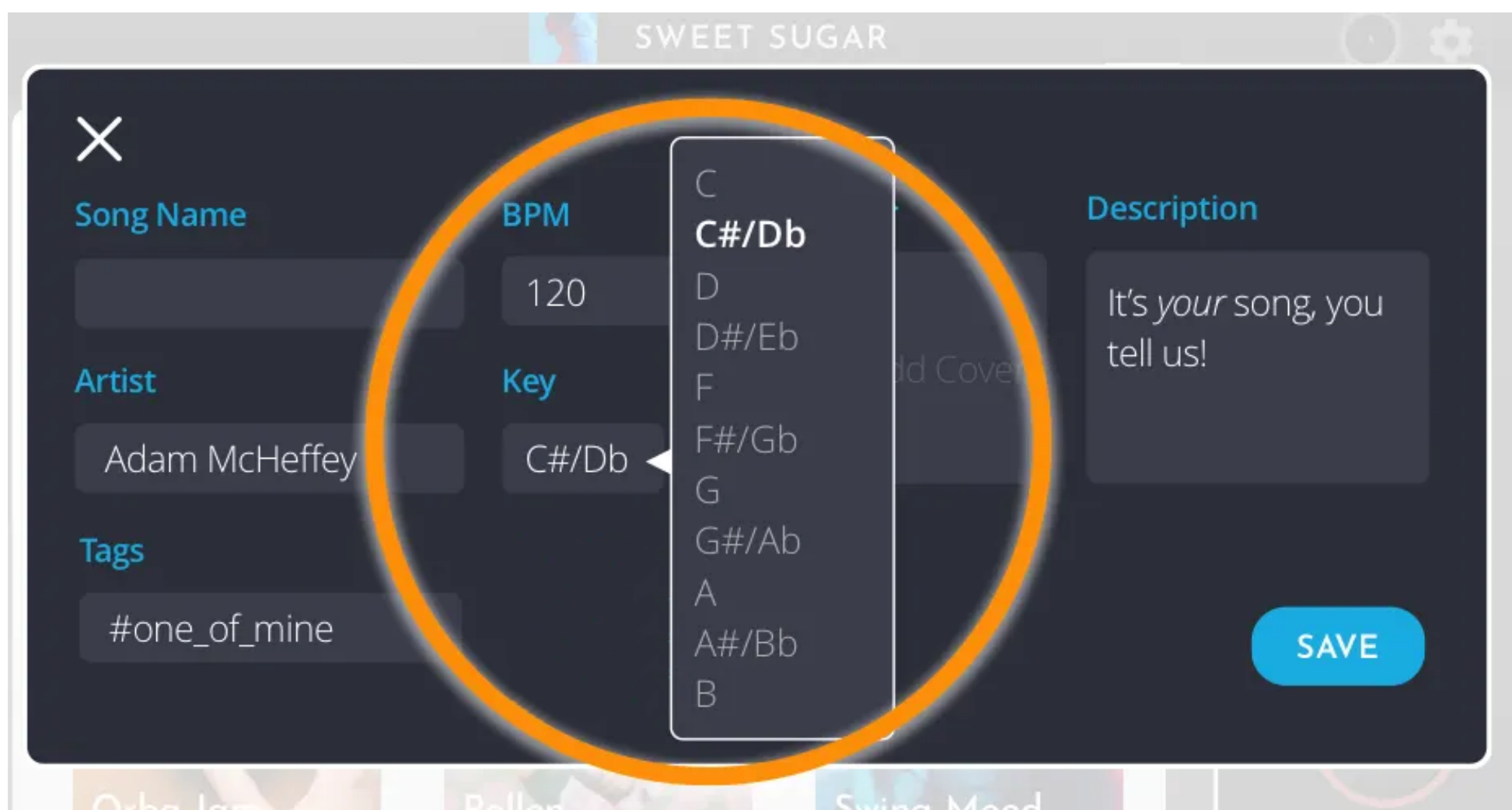
- **A + Pad 8 (OCT)**を長押しします。
- オクターブパッドから指を上をスライドさせてチューニングを上げます。
- A + Pad 8 (OCT)を長押しします。

移調

Orbaのデフォルトのチューニングは八長調です。しかし、Orbaはどのキーでも演奏することができます。曲のキーはOrbaアプリで変更することができます。

移調手順

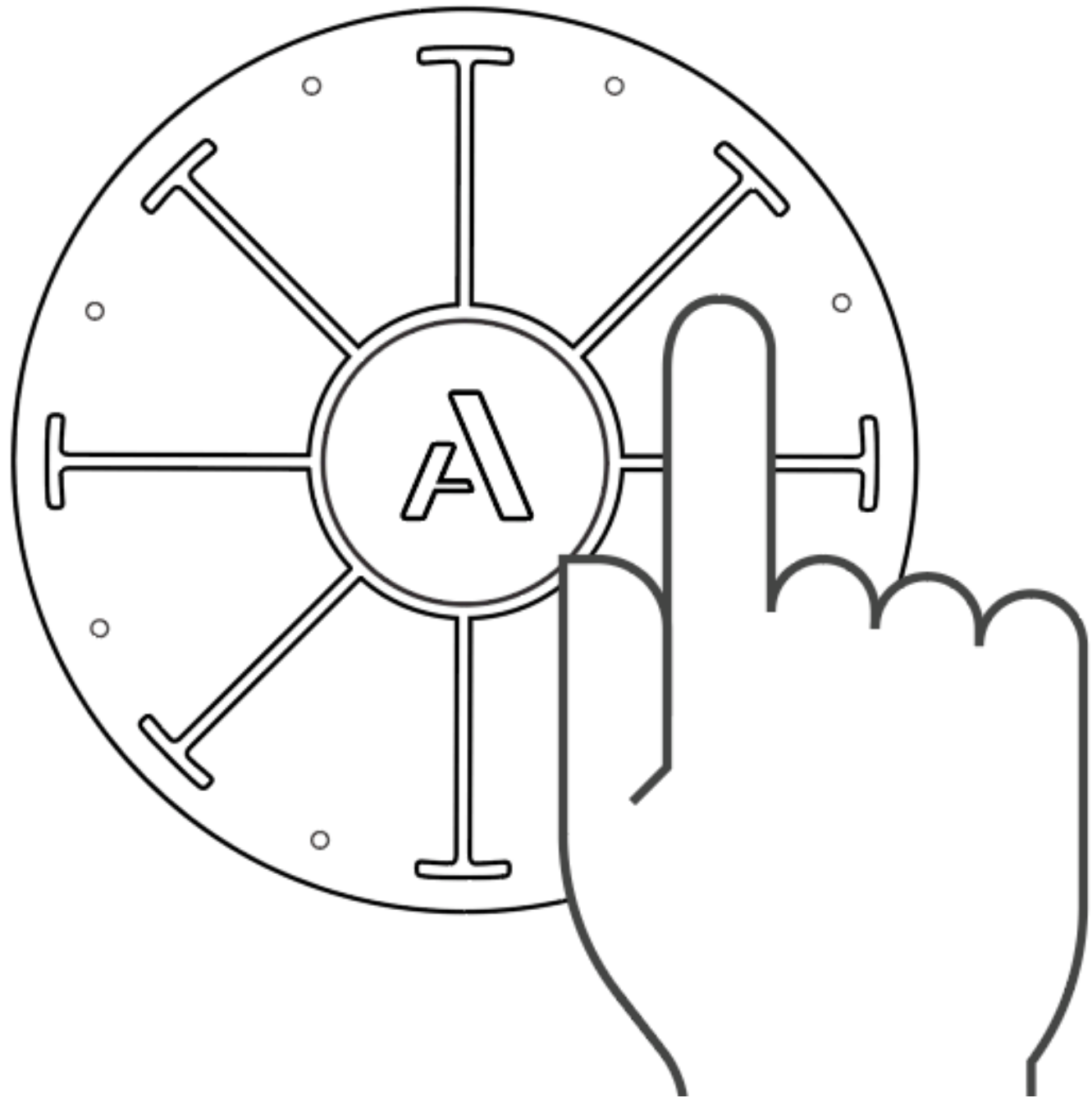
- Orba appを起動し、Songを選択します。
- transport バーより鉛筆アイコンを選択します。
- Keyを選択するとドロップダウンメニューが表示されます。
- 目的のキーを選択し、SAVEをクリックします。



ジェスチャー

Orbaのタッチセンサーとモーションセンサーが、微妙なジェスチャーも捉えます。机の上に置いたまま、手を伸ばして音符を弾いたり、片手で叩いたり、指先や親指で叩いたり、空中で振ったり振ったり。片手で、または両方で、指先や親指でタップしたり、振って宙に振ることもできます。各パッドの周りをスライドさせたり、ビブラート効果を得ることもできます。以下に、各ジェスチャーの詳細と正確にどのように動作するかについての情報を解説します。

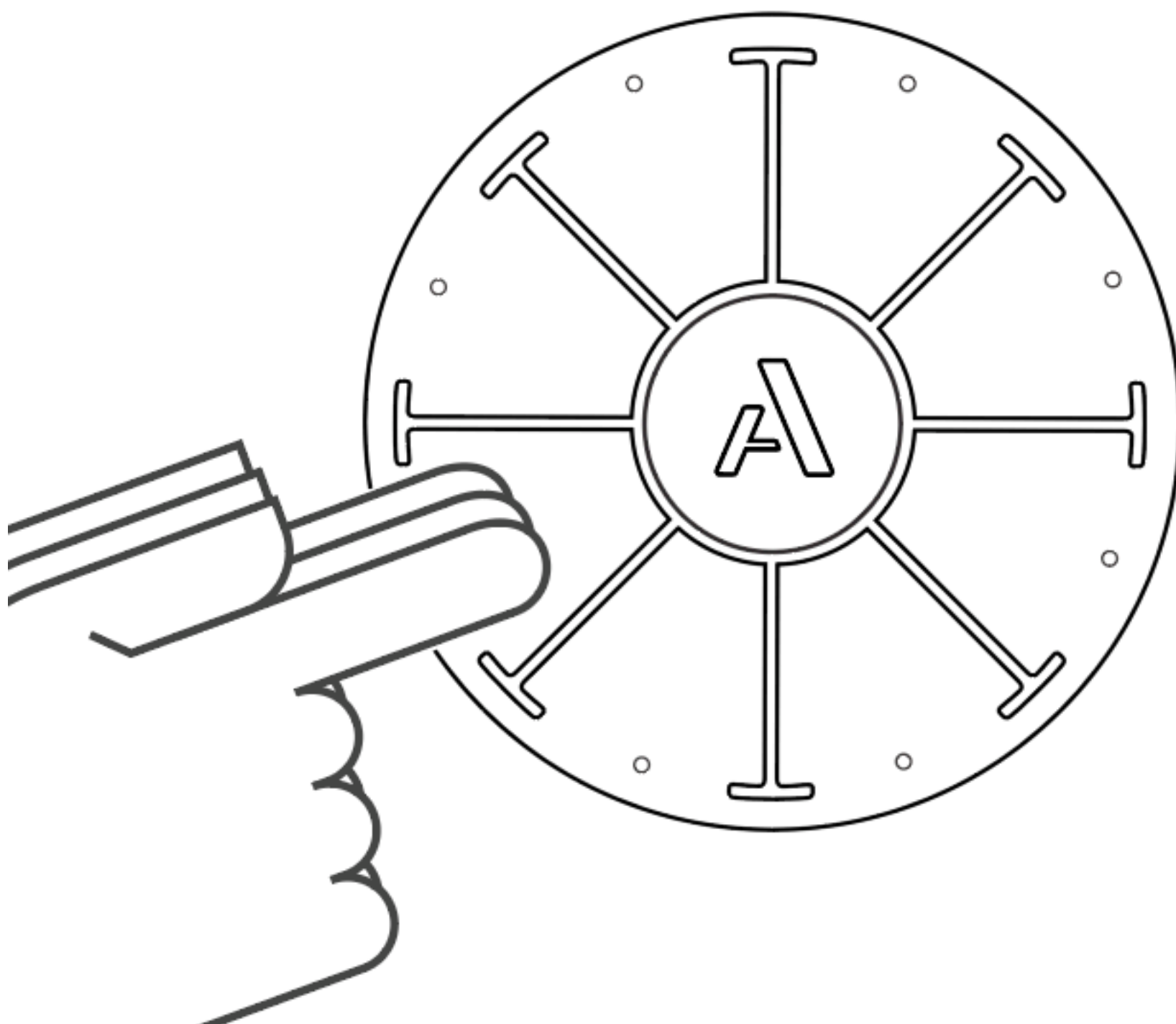
Tap



パッドをタップします。Orbaはベロシティセンシティブなので、強くタップすればするほど音が大きくなります。

MIDI メッセージ: ノート On/Off

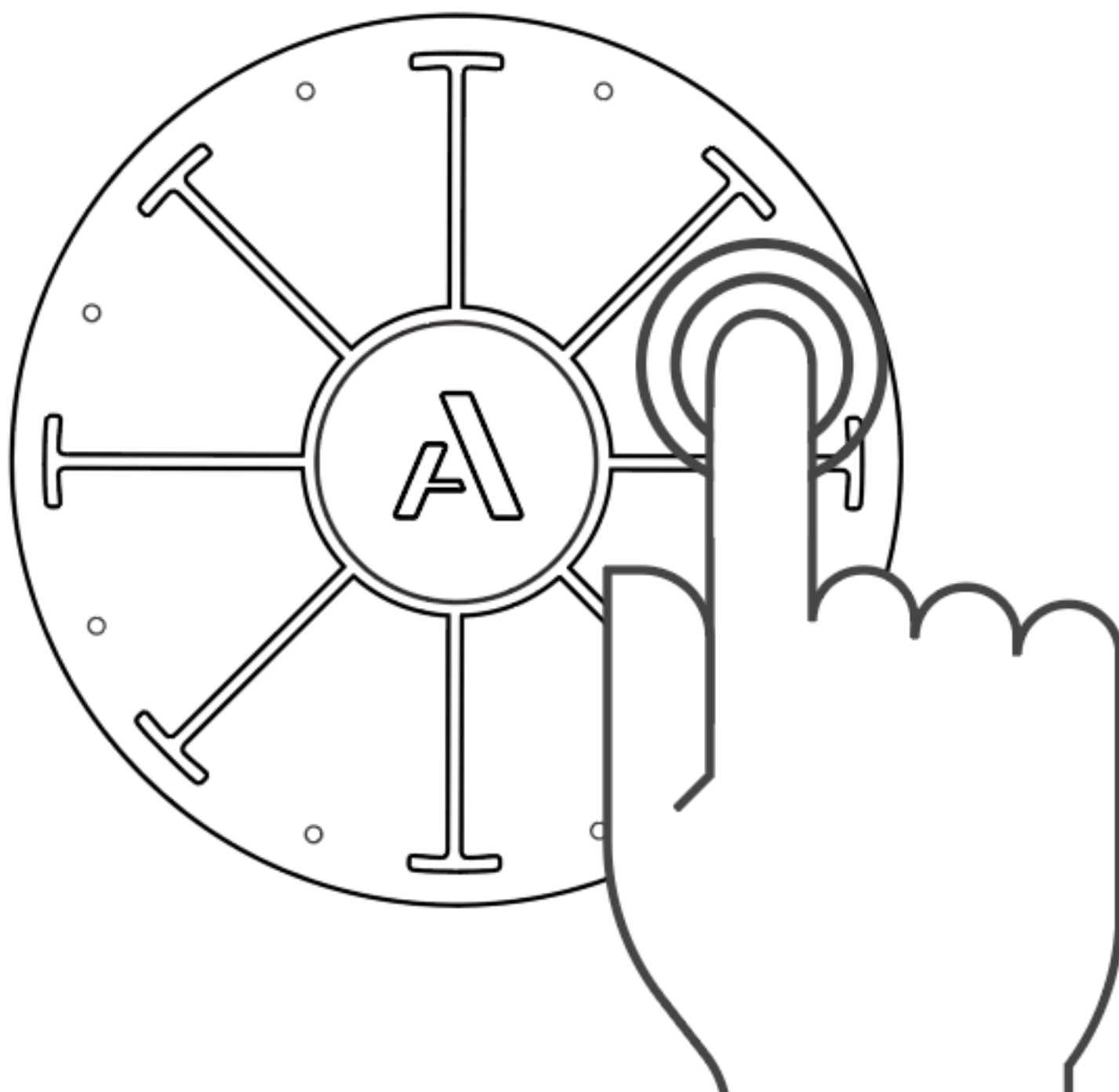
ビブラート



タップしてパッドの上で指を左右に動かします。ビブラートは音程を変化させます。音程の範囲はOrbaアプリのピッチベンドスケーリングの設定で調整できます。

MIDI メッセージ: Pitch

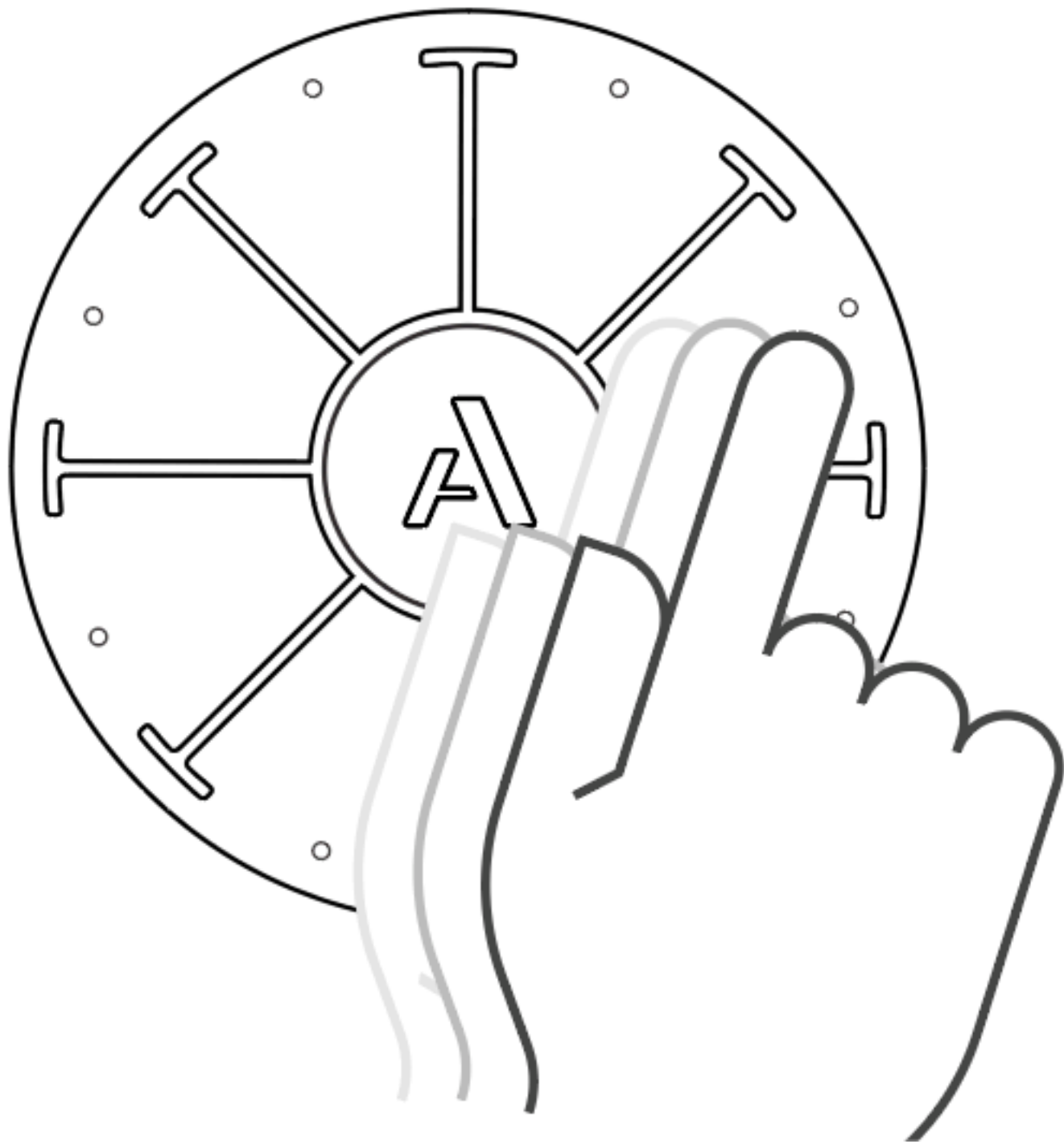
Press (押し込む)



パッド上で指をタップしたままホールドします。圧力を検出するベロシティとは対照的に、**Press**は指がより多くの（または少ない）表面積を占めるようにすることで作動します。このように考えてみてください：指を広げれば広げるほど、より大きく**Press**が反映されます。保持したまま圧力を加えると、Orbaシンセのモジュレーションを調整することができます。

MIDI メッセージ: Channel Pressure

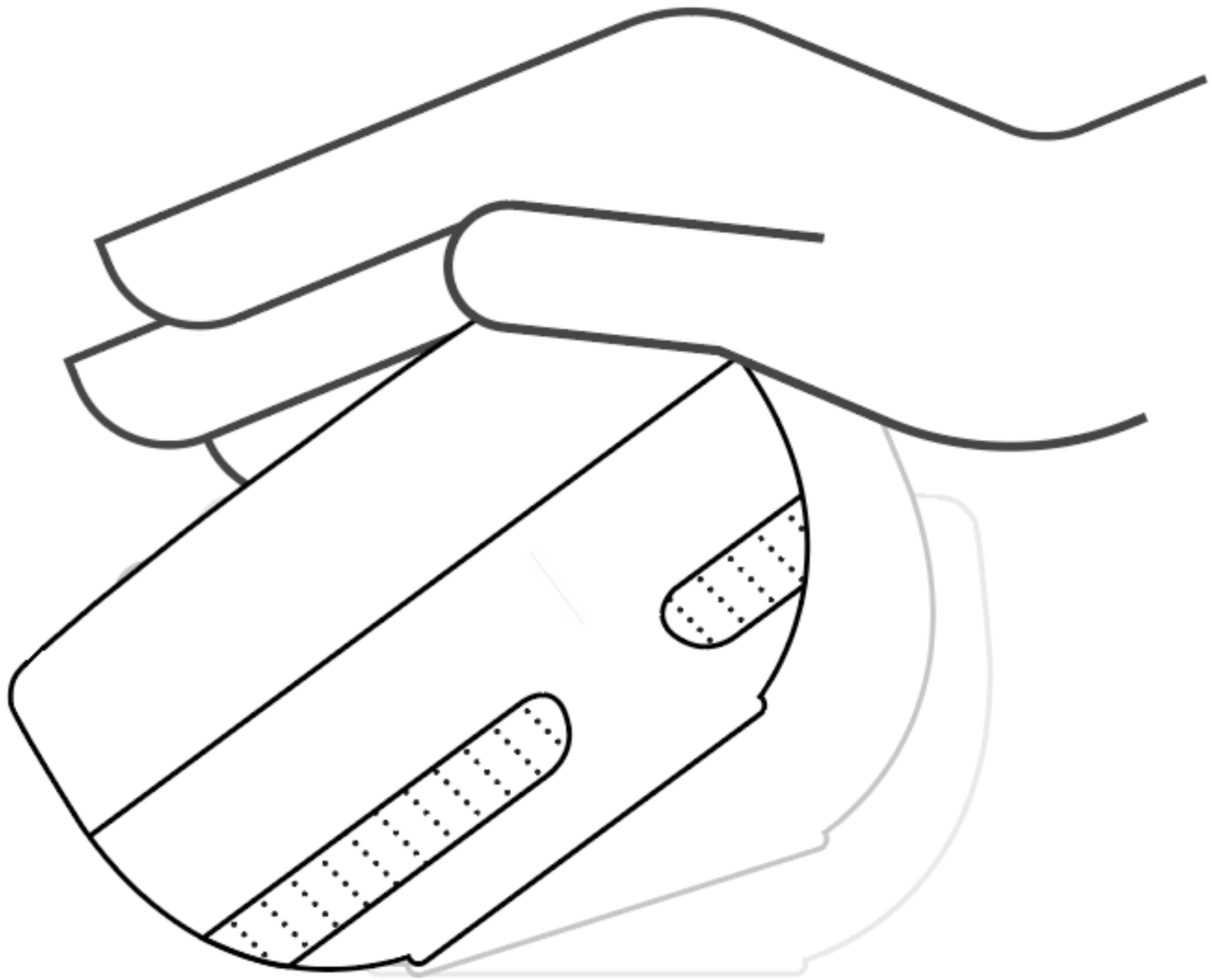
Radiate（放射）



パッド内で指を押して、Orbaの中心から端まで内外に動かします。Radiate エフェクトは明るさです。Orbaの内蔵シンセサイザーと併用すると、ボリュームやエンベロープなどのエフェクトに影響を与える可能性があります。まずはBassとChordモードで試してみてください。

MIDI メッセージ: Brightness - CC#74

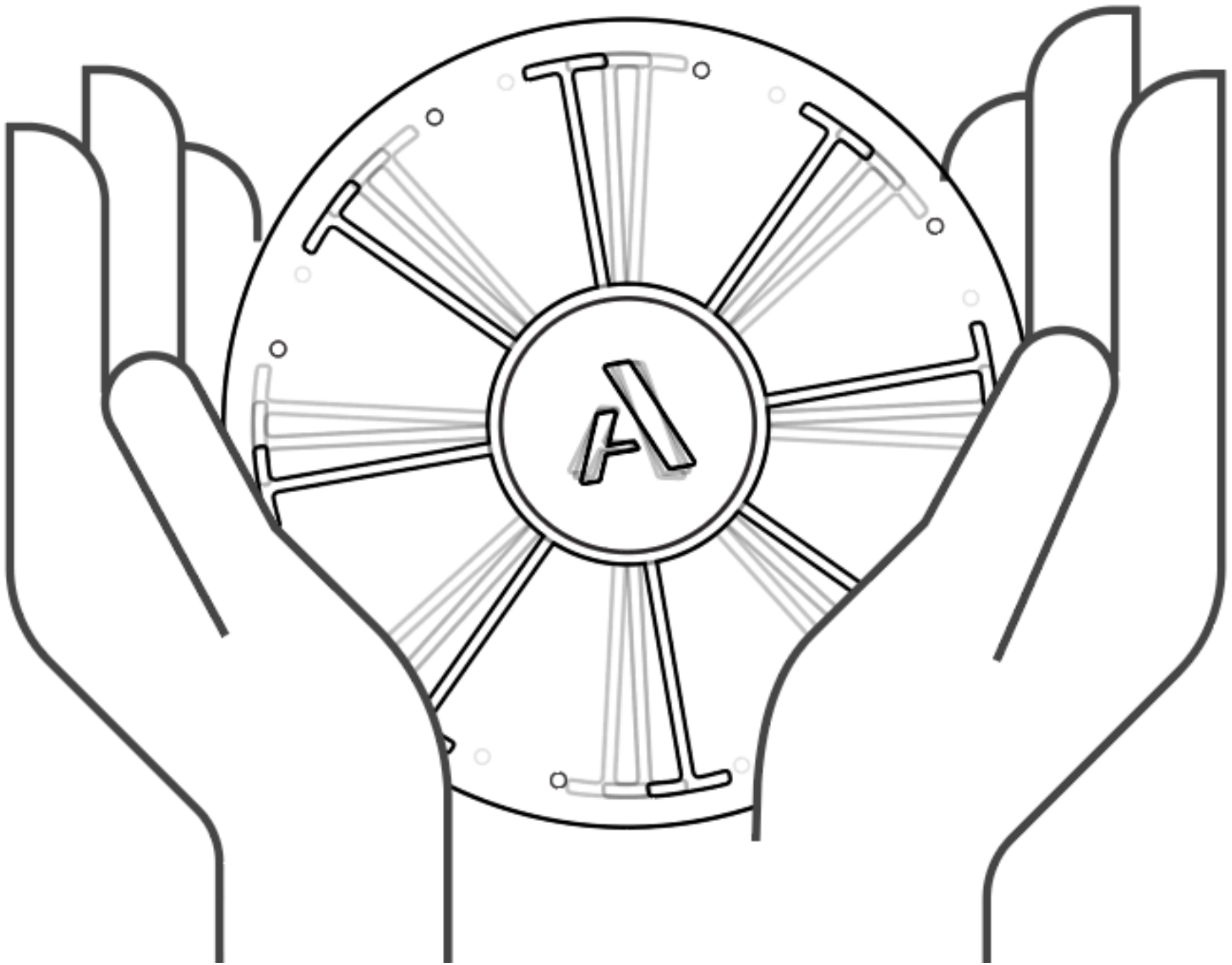
Tilt (傾き)



Orbaを横に傾けるとエフェクトがかかります。TiltはOrbaの伝統的なキーボードコントローラーのモジュレーション・ホイールのバージョンです。ホイールは非常に一般的なMIDIエフェクトなので、Tiltはほとんどのソフトウェアシンセやアプリでそのまま動作します。

MIDI メッセージ: Mod Wheel - CC#1

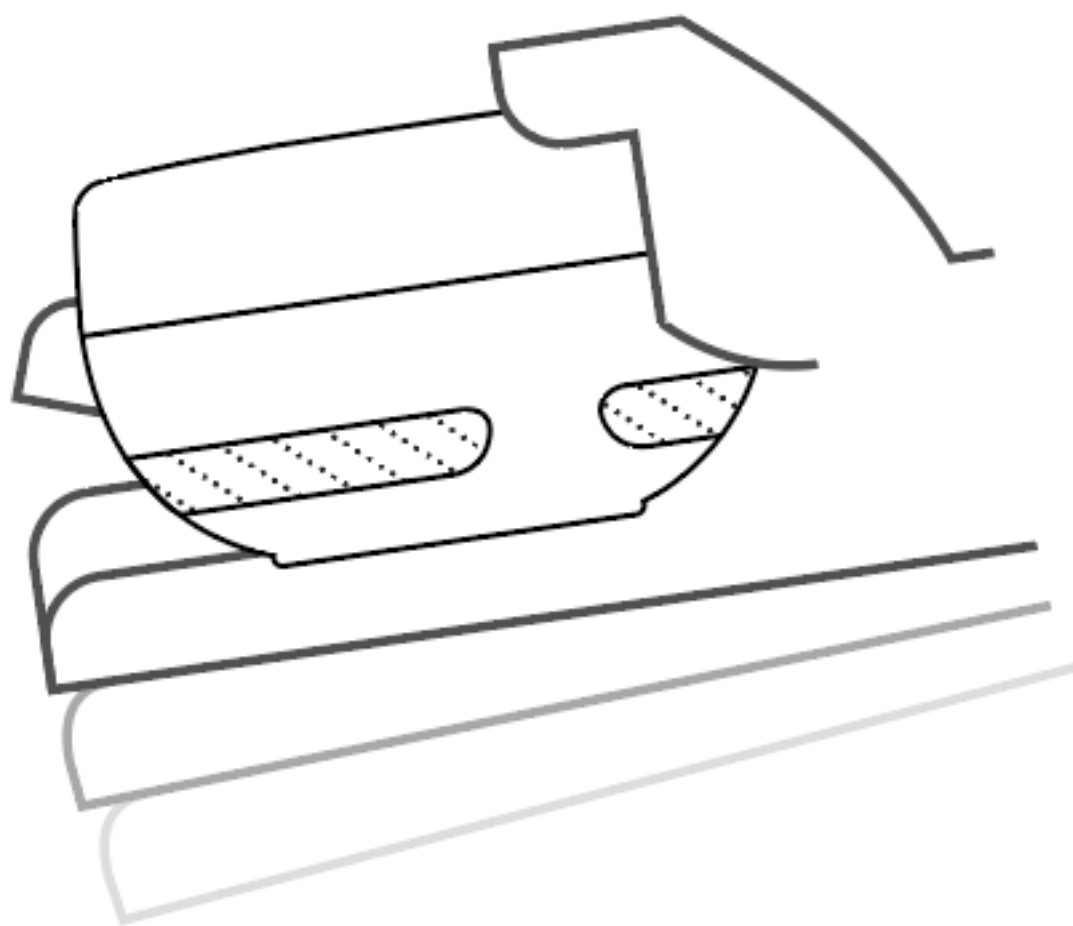
Spin (回転)



Orba をノブのように回転させます。

MIDI メッセージ: CC#112

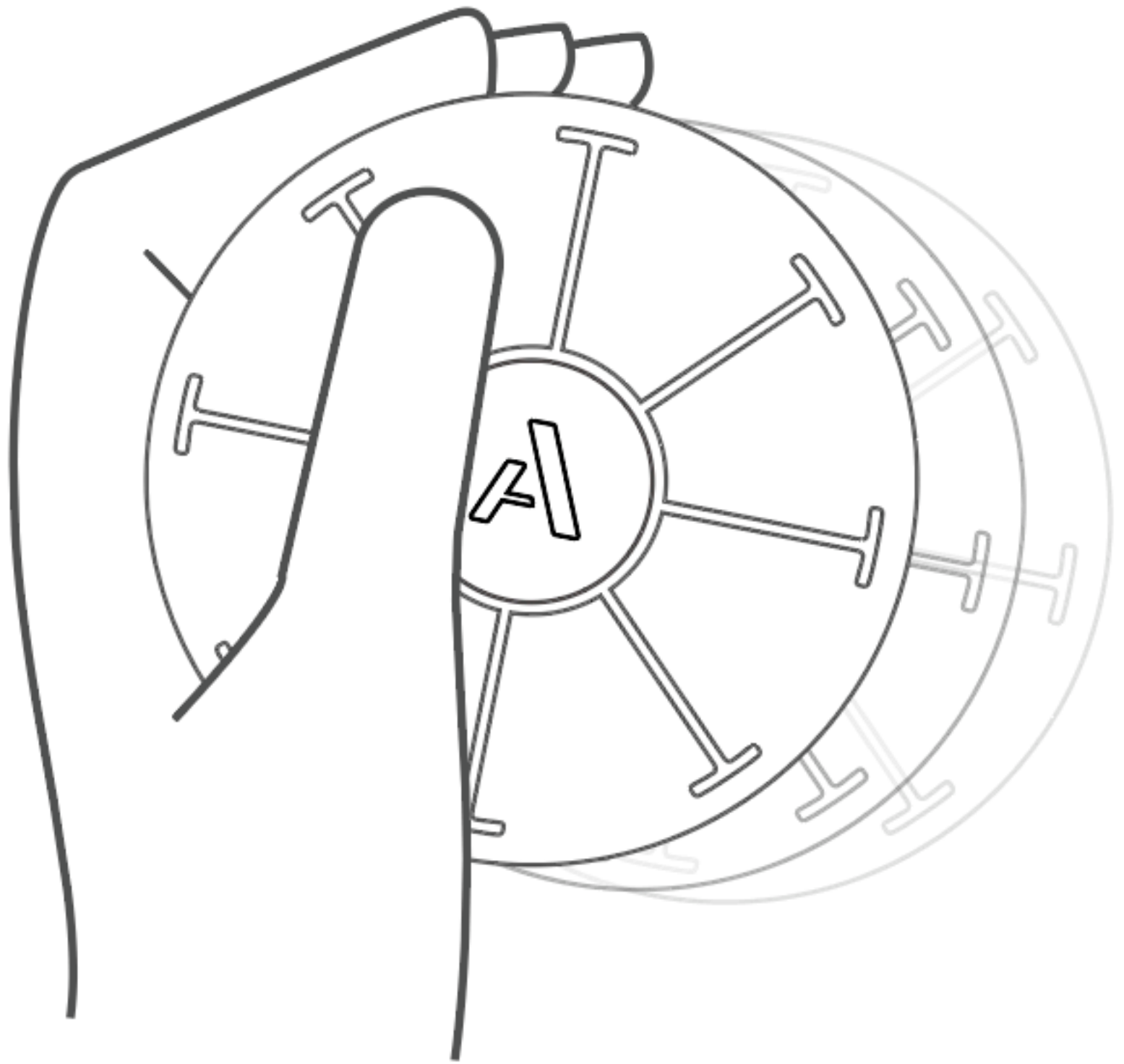
Move (動かす)



Orba を動かすと、モジュレートなどのサウンドエフェクト効果が得られます。

MIDI メッセージ: CC#113

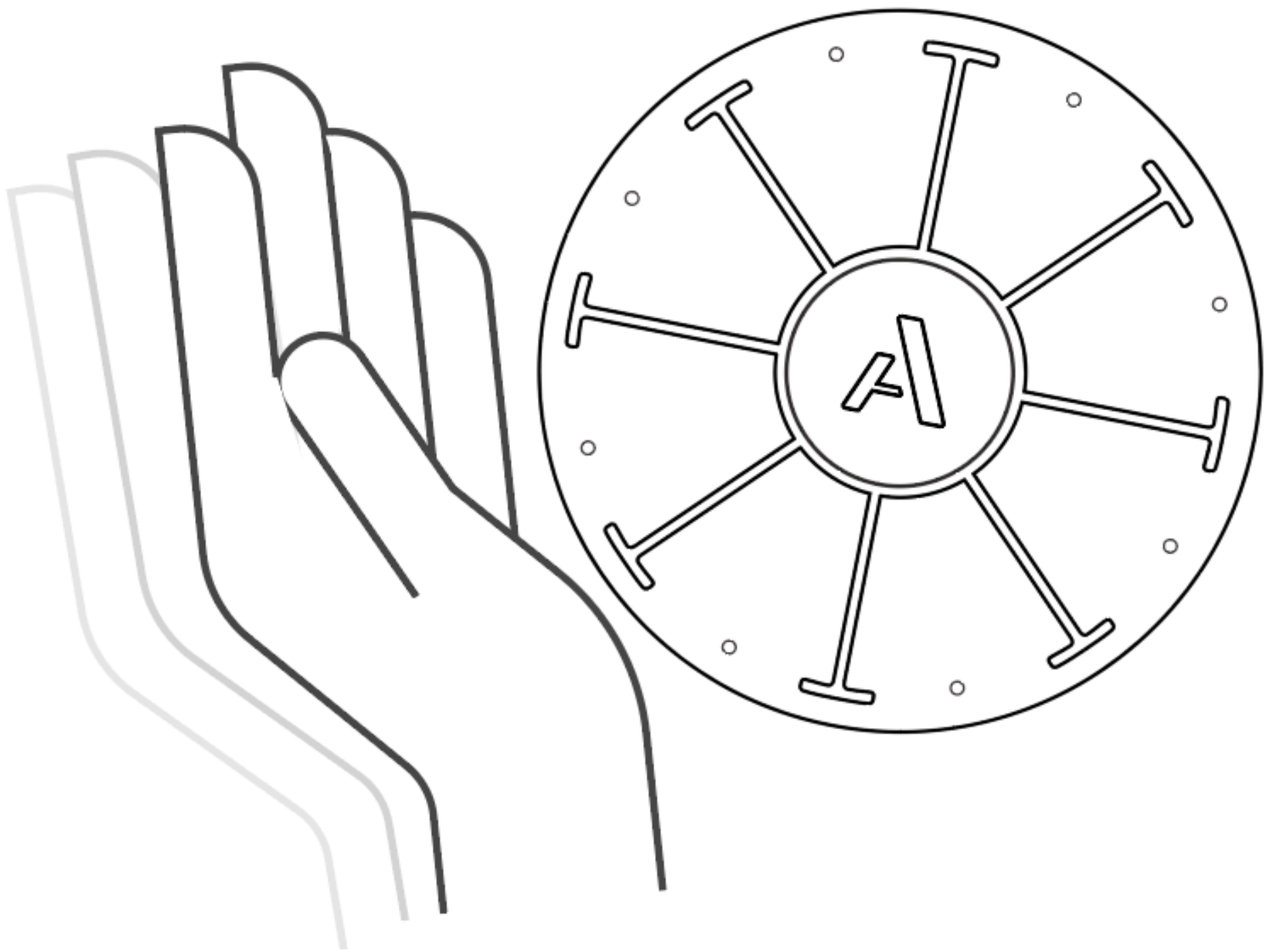
Shake (振る)



ドラムモードでは、Pad 8を押したままOrbaを振ります。Shakeは、左右へのソフトな動きにすると効果的です。

MIDI メッセージ: MIDI ノート 69 および CC#2

Bump (叩く)



Orba のサイドをタップします。 DrumモードでBumpを試してみてください。"クラップ"サウンドが発音します。

MIDI メッセージ: MIDI ノート 39

Orba App

Orbaアプリでは、Orbaのカスタマイズ、楽曲の共有、プリセットの読み込み、楽曲へのアクセスが可能です。Orbaアプリを使ってファームウェアをアップデートすることもできます。

Songs

Songとは？

Songとは、合わせて動作するLoopとPresetの集合体です。一連のループを生成すると、Orbaアプリでこれらのループを一緒に曲として保存することができます。

Presets

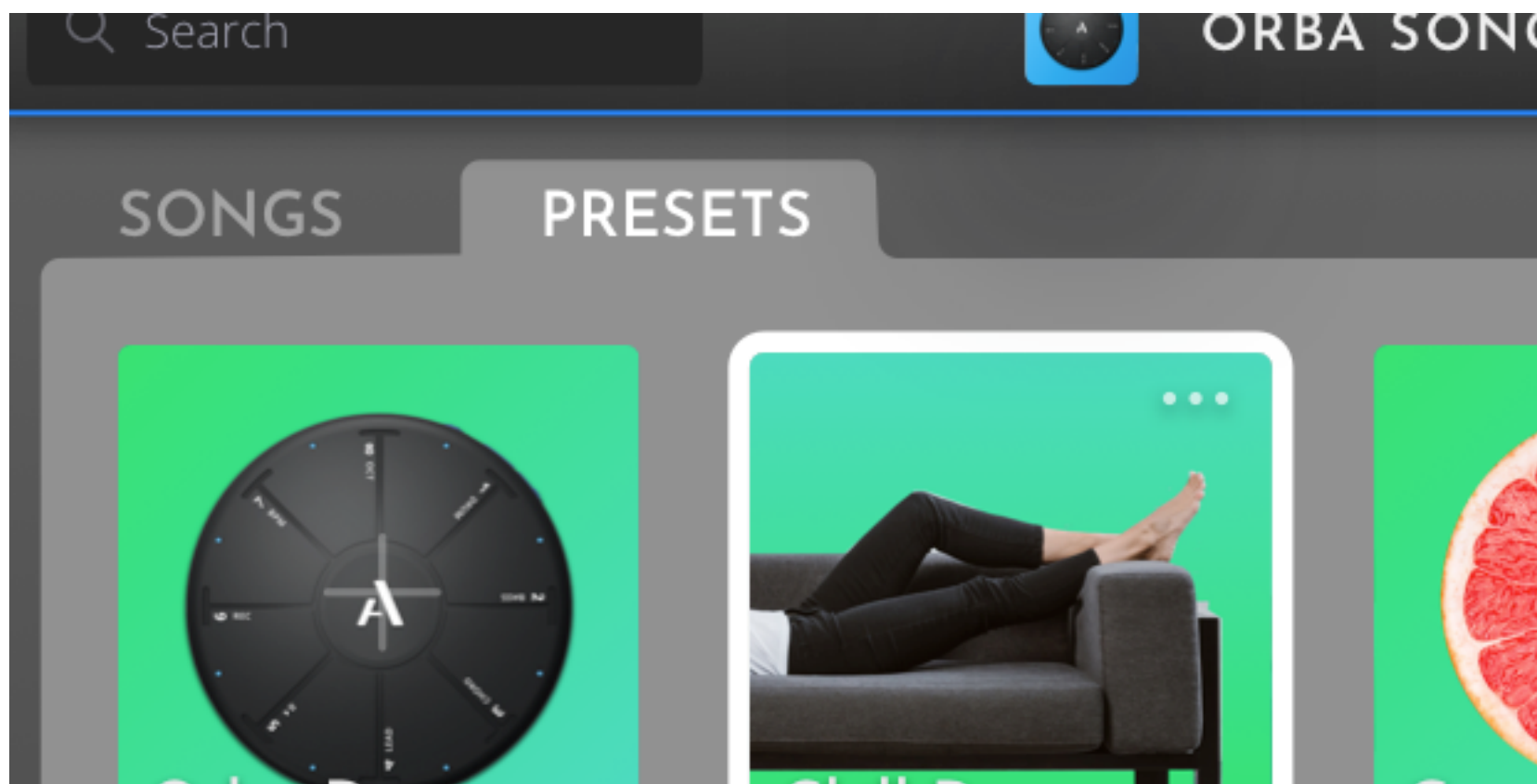
Presetとは？

プリセットとは、Orbaの4つのインストゥルメントモードの1つに適用されるサウンド、チューニング、ジェスチャーのセットのことです。注意：プリセットはモードごとに異なります。例えば、ドラムのプリセットは、ドラムモードの時にのみ選択できます。Orbaのプリセットの変更はOrbaアプリ内で行います。

音色を変更したい場合は、新たにプリセットを作成してください。

Presetの変更

1. Presets フォルダー・ナビゲーション



2. Load を選択して完了！

Orba をMidi コントローラとして使用する

スタンドアロンのシンセサイザーとしてだけでなく、OrbaはMIDIコントローラとしても機能します。Orbaを使って、MIDI対応のソフトウェアやハードウェア

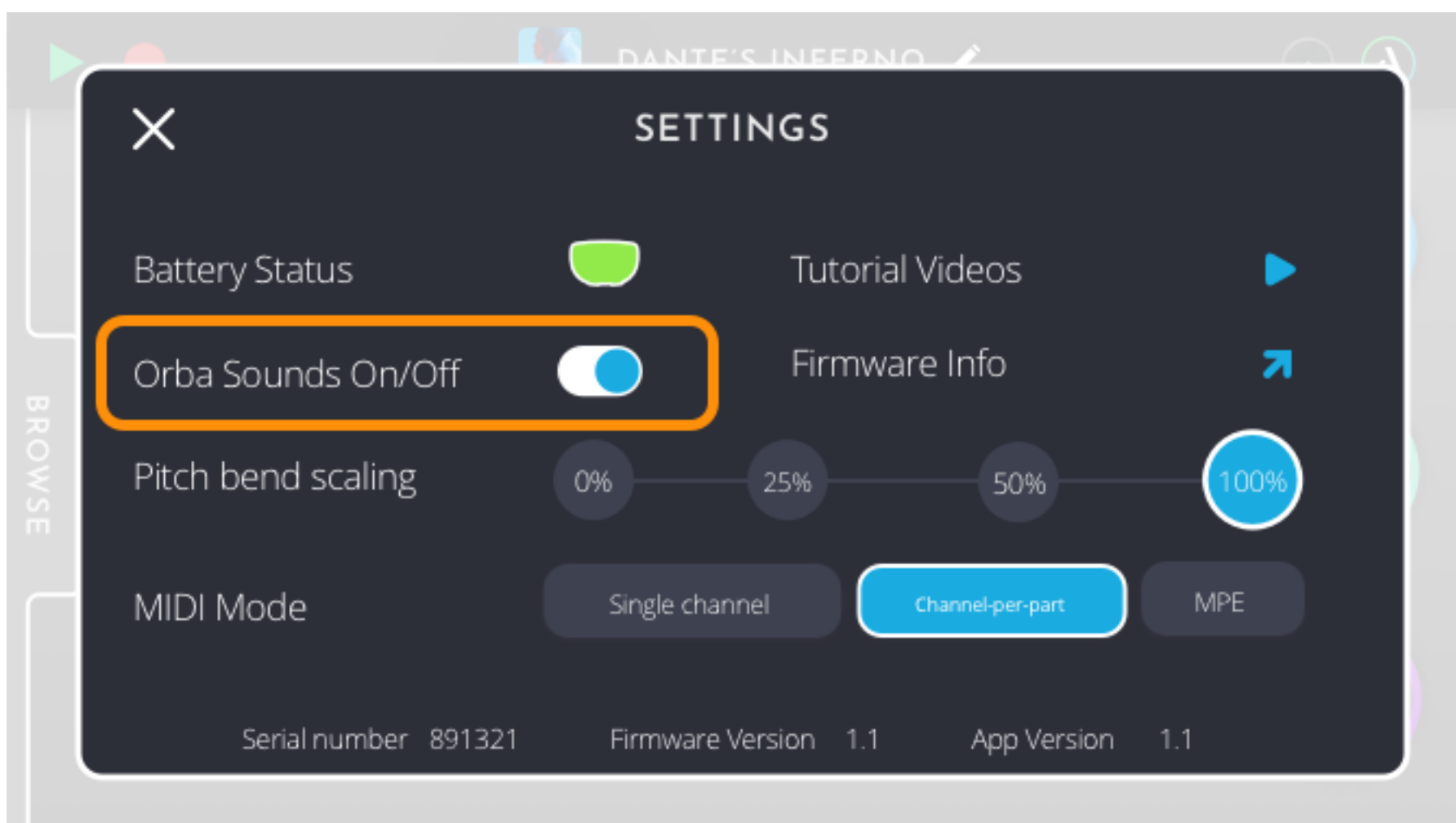
アでサウンドをトリガーしたり、コントロールを行ったりすることができます。

Orba をMIDI コントローラとして使うには2通りの方法があります：

- Mac OS X、iOS、AndroidからOrbaを **MIDI over Bluetooth**機器として使用します。
- **USB-C** ポートにMac、iOS、Windowsを接続して使用します。

以下にMAC OS X、Windows、iOS、Androidとの接続方法を説明します。

用途に応じて、Orbaの内部シンセを無効にして、2つの音源が聞こえないようにしてください。これを行うには、Orba Appの設定ページを開き、Orba SoundsのOn/Offを切り替えます。



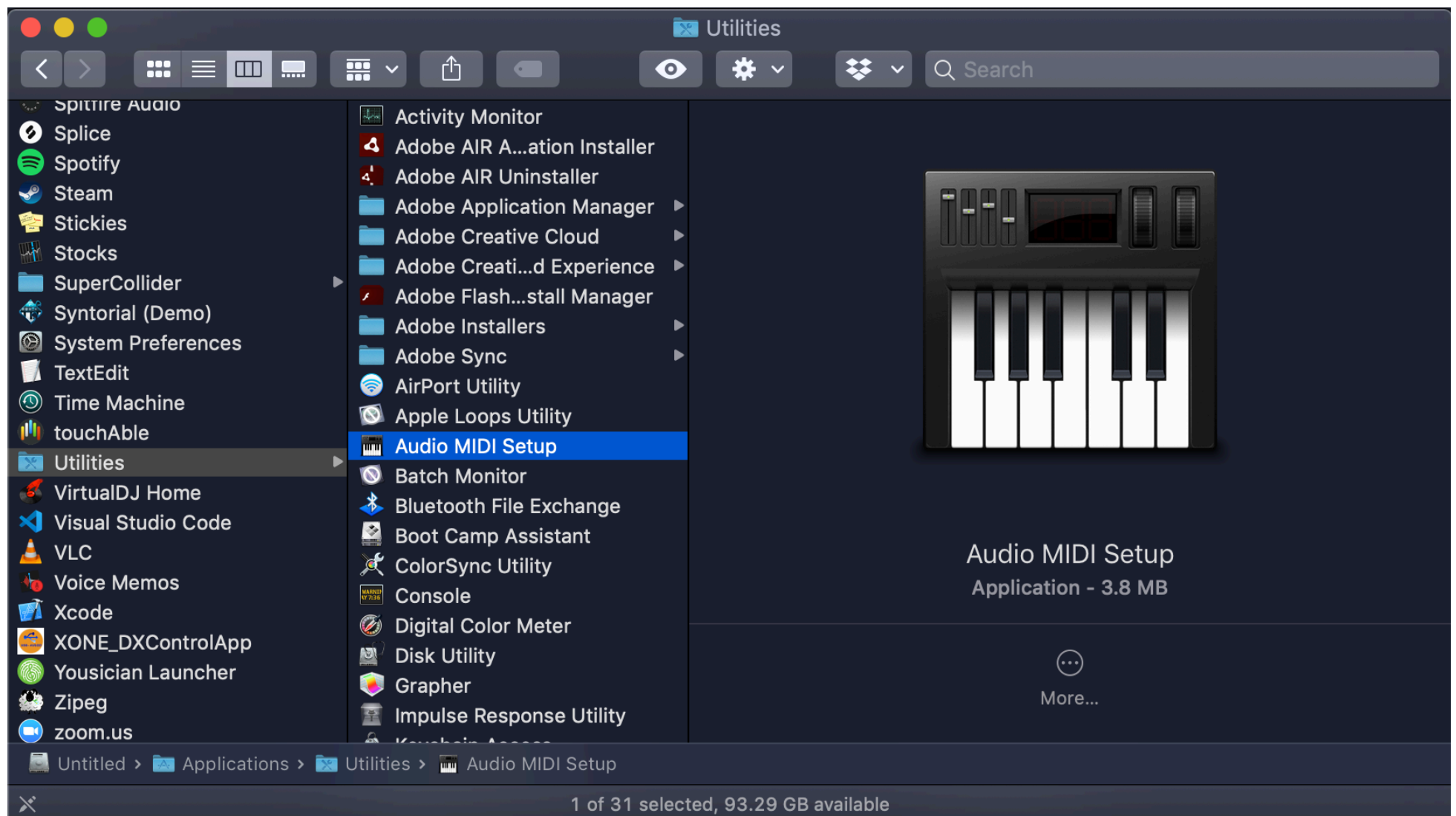
Mac OSに接続する

USB-C

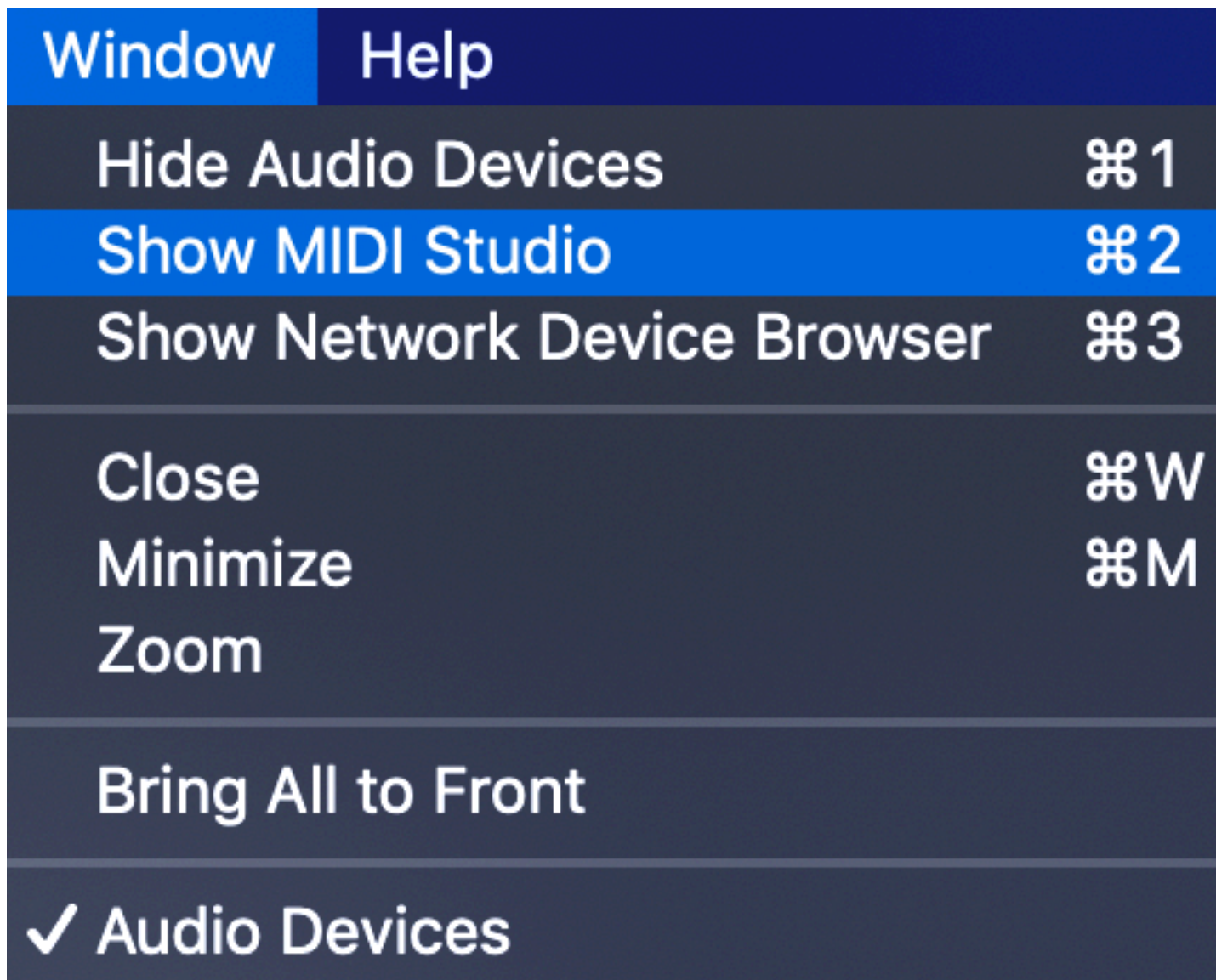
付属のUSB-C-USB-Aケーブルをコンピュータに接続するだけです。USB-C入力を搭載したMacでは、USB-C to USB-Cケーブルまたはアダプタが必要になります。

MIDI over Bluetooth

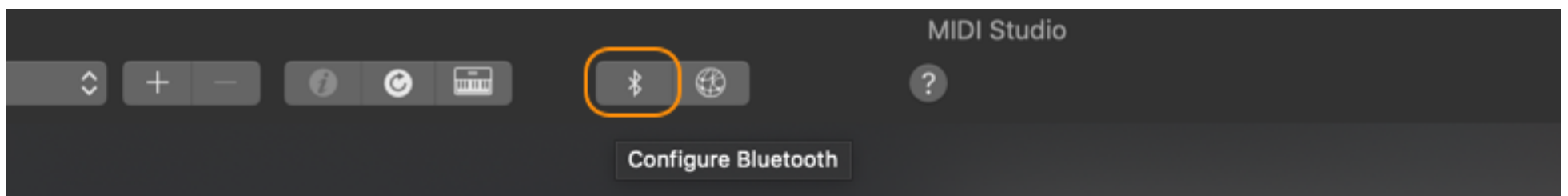
1. MacでAudio MIDI 設定を開きます。これは アプリケーション/ユーティリティ・フォルダ内にあります。または、キーボードショートカット「Command + Space」を使用することもできます。Audio MIDI Setupと入力してプログラムを探します。



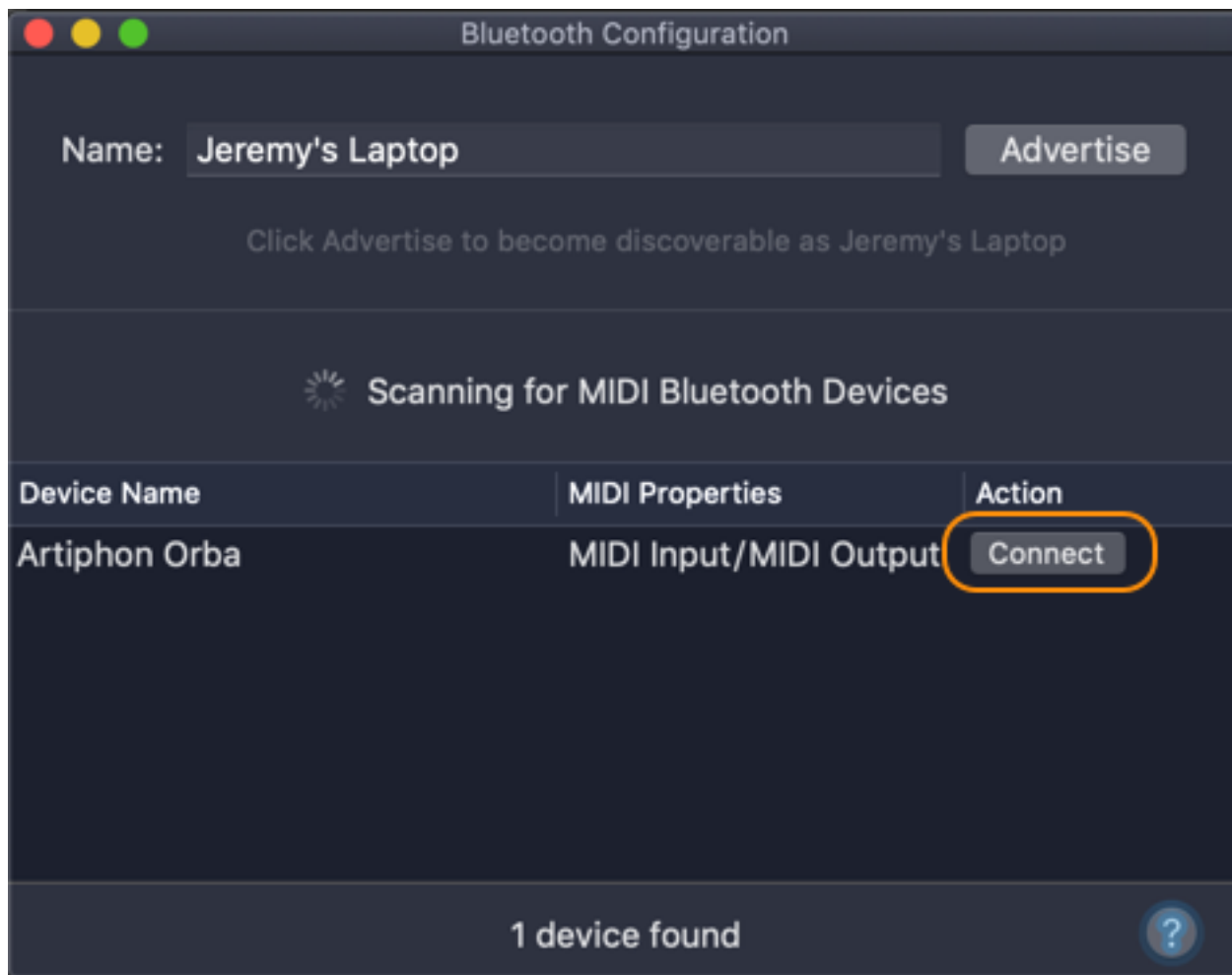
2. Audio MIDI 設定のWindowドロップダウンを開き、“MIDI Studioを表示”を選択するか、キーボードショートカットCommand+2を使用します。



3. ウィンドウ上部からBluetoothの設定アイコンを選択します。



4. 利用可能なデバイスのリストからOrbaを選択します。リストにOrbaが表示されていない場合は、Orbaの電源が入っていてコンピュータの近くにあることを確認してください。



Windowsに接続する

USB-C

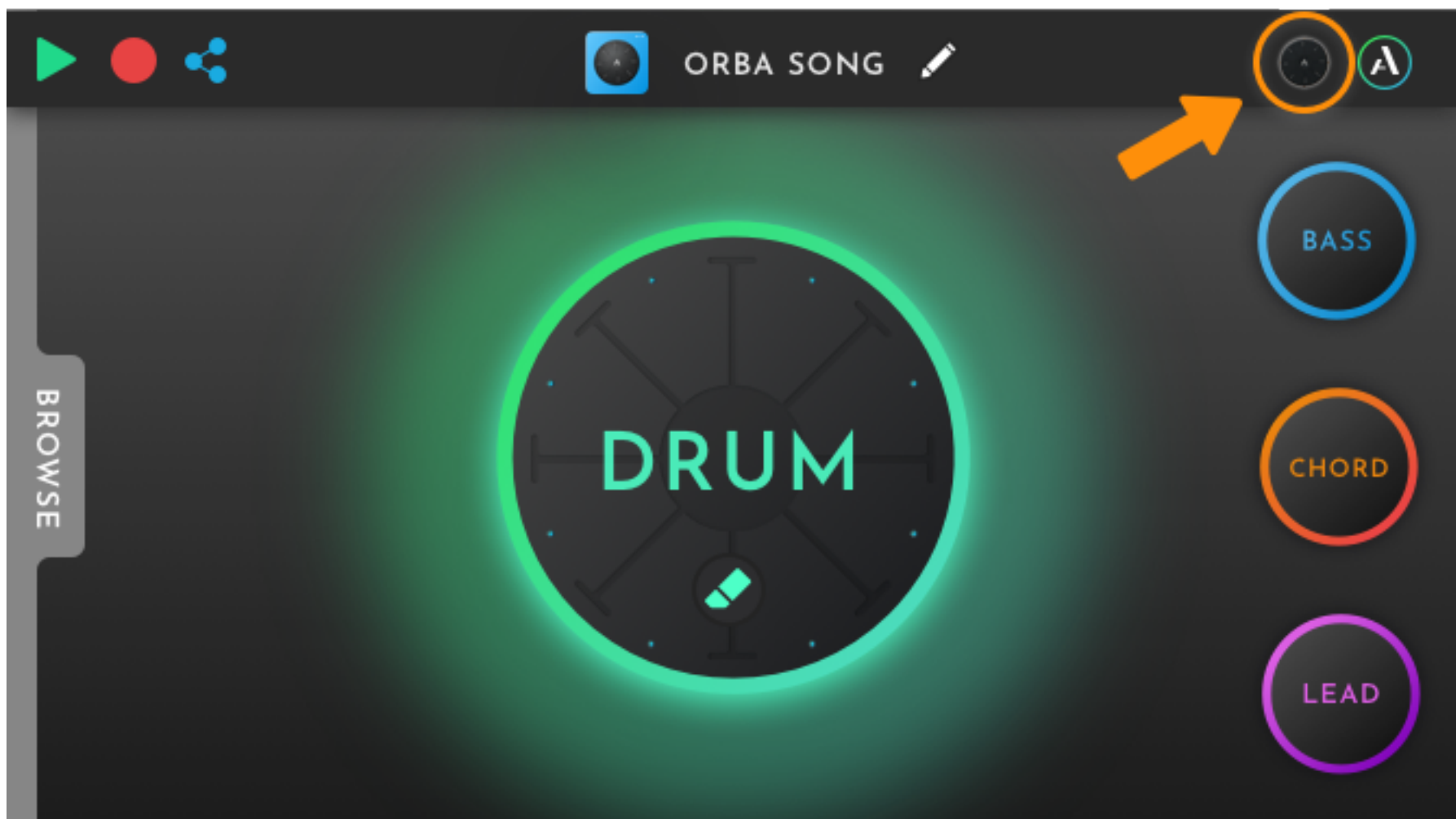
Windowsは簡単です! 付属のUSB-C-to-USB-Aケーブルをパソコンに接続するだけです。残念ながら、Windowsは現在MIDI over Bluetoothをサポートしていません。

iOSに接続する

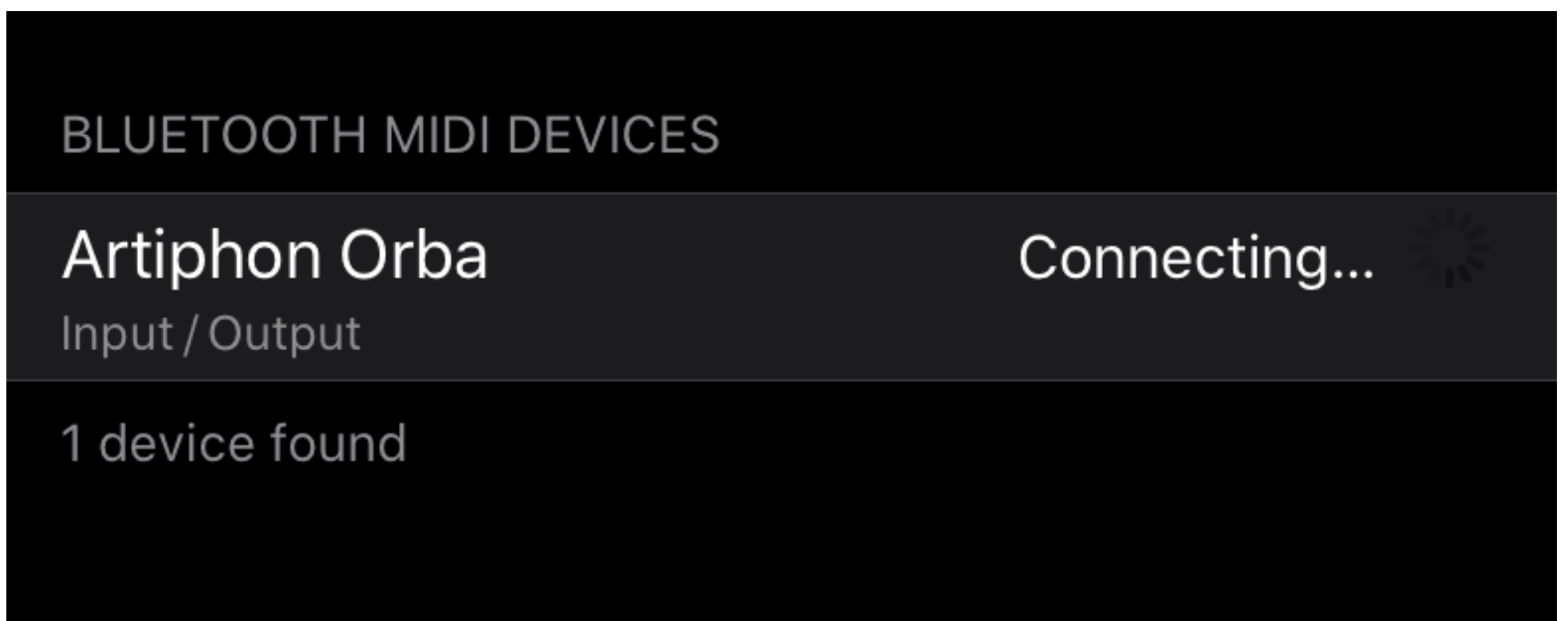
Orba App

Bluetooth

- Orba Appを開き、画面右上のOrbaアイコンをタップします。



- Bluetooth MIDI DevicesのリストからOrbaを選択します。



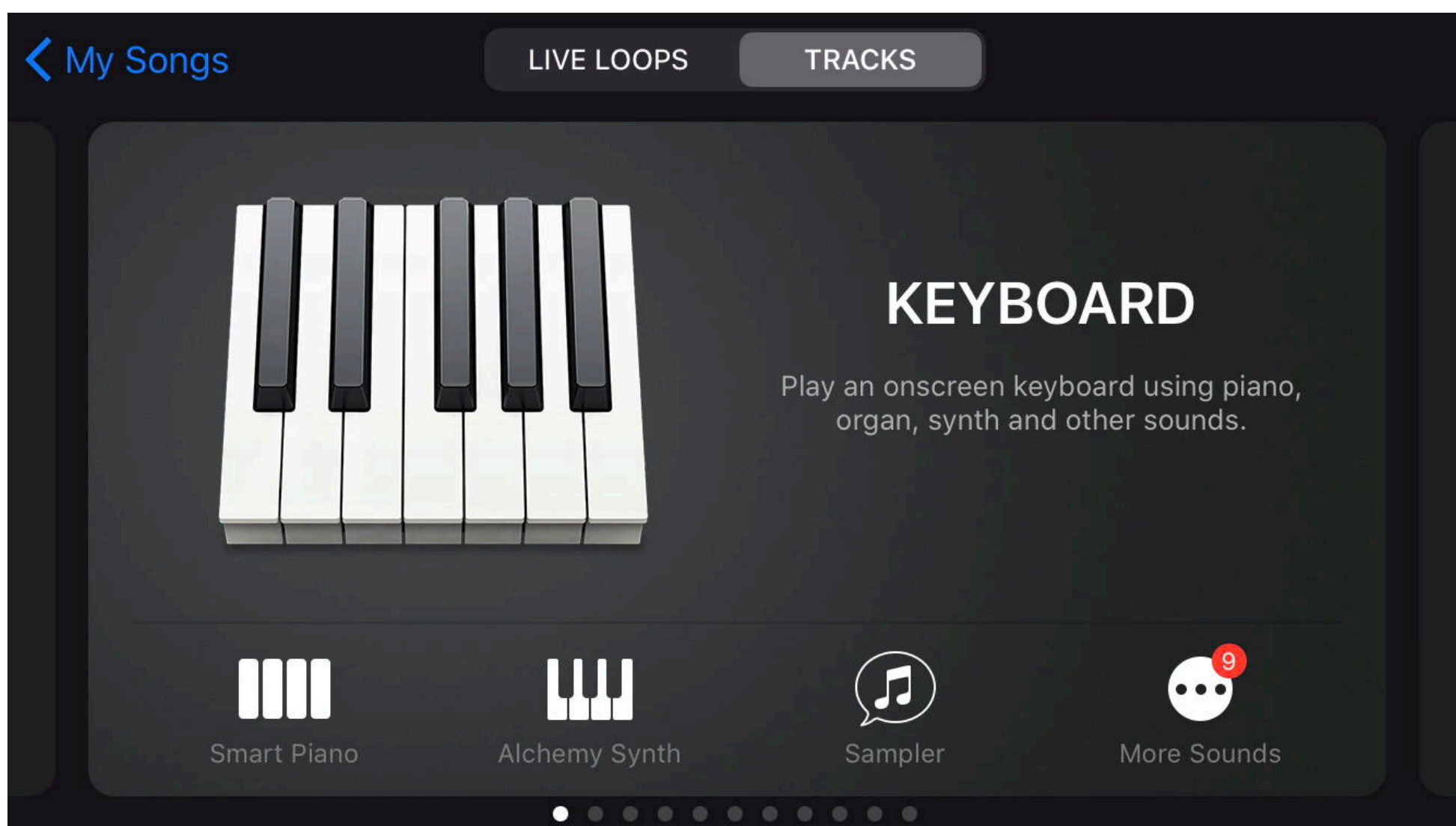
- 注：このリストにOrbaがオプションとして表示されていない場合は、Orbaの電源が入っていてiOSデバイスの近くにあることを確認してください。

サードパーティ・アプリケーションでの使用

MIDI対応のiOSアプリは何百もあります。OrbaとiOSアプリをペアリングする場合、Bluetoothでの接続はアプリ自体で行います。例として、OrbaとGarageBand for iOSを接続する手順を説明します。

GarageBandでの接続

1. GarageBand for iOSでは、コントロールバーの“設定”ボタン（歯車アイコン）をタップします。iPhone 8、iPhone 7、iPhone 6sでは、“設定”ボタンをタップし、“曲の設定”をタップします。
2. 詳細設定をタップし、“Bluetooth MIDI デバイス”をタップします。
3. 接続したいデバイスの名前をタップし、接続スイッチをオンにします。
4. キーボードやギターなどのソフトウェア音源をロードします。



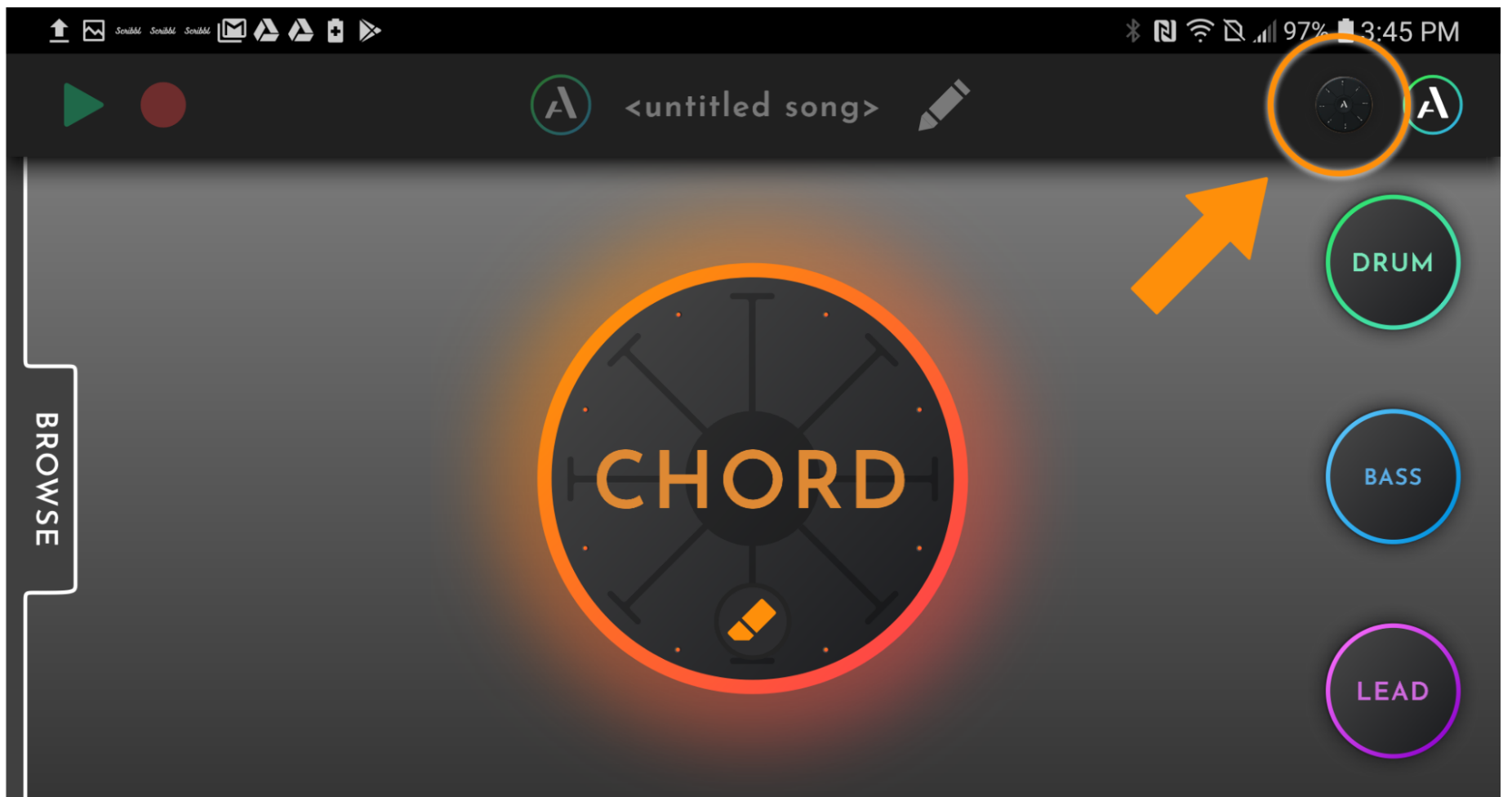
5. プレイを開始します。使い方はシンプルです!

Androidに接続する

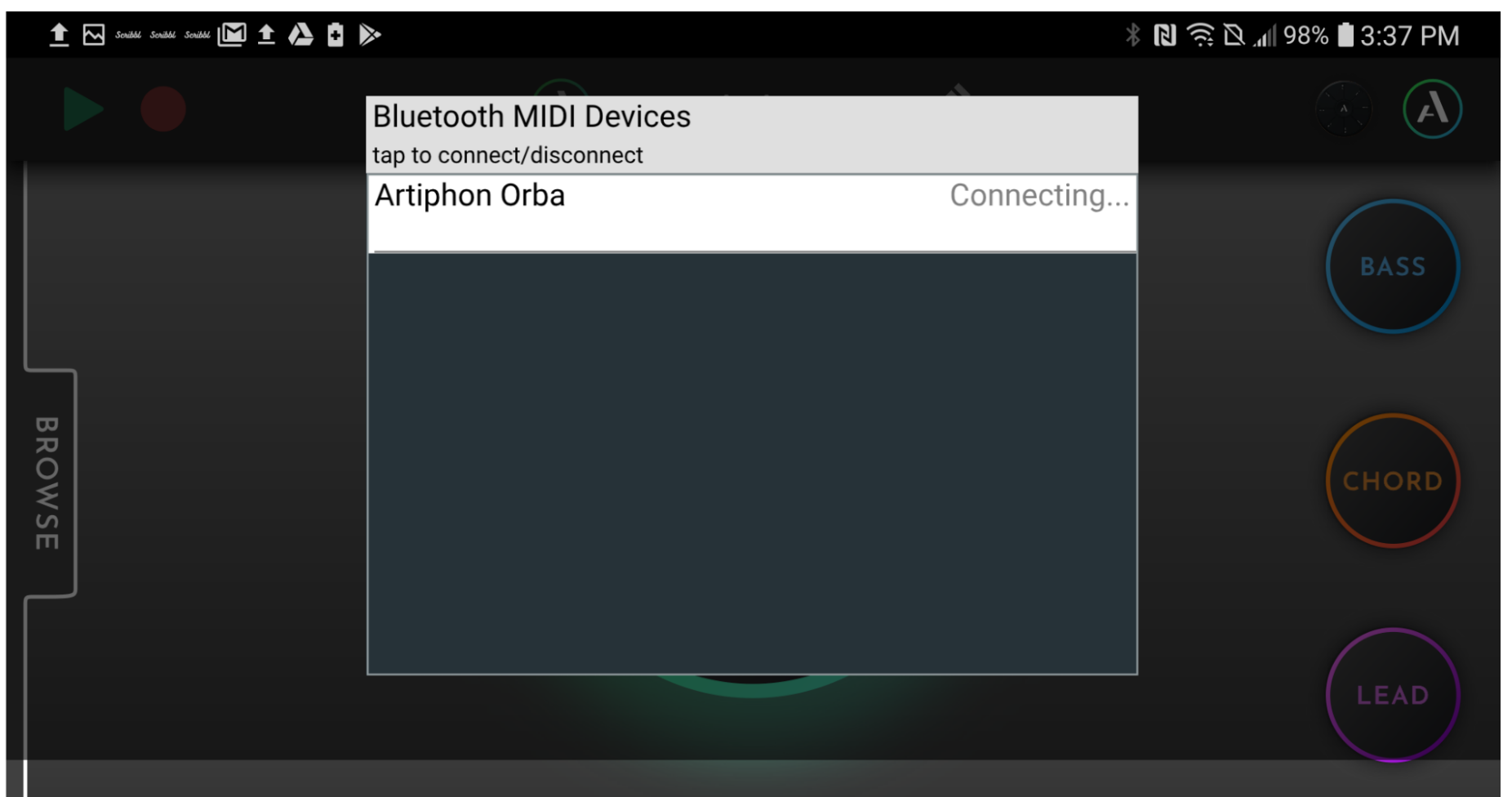
Orba App

(*2020.9.16現在、Orba App Android版はBetaのみの提供となります)

- Orba Appを開き、画面右上のOrbaアイコンをタップします。



- Bluetooth MIDI DevicesのリストからOrbaを選択します。



- 注：このリストにOrbaがオプションとして表示されていない場合は、Orbaの電源が入っていてiOSデバイスの近くにあることを確認してください

サードパーティ・アプリケーションでの使用

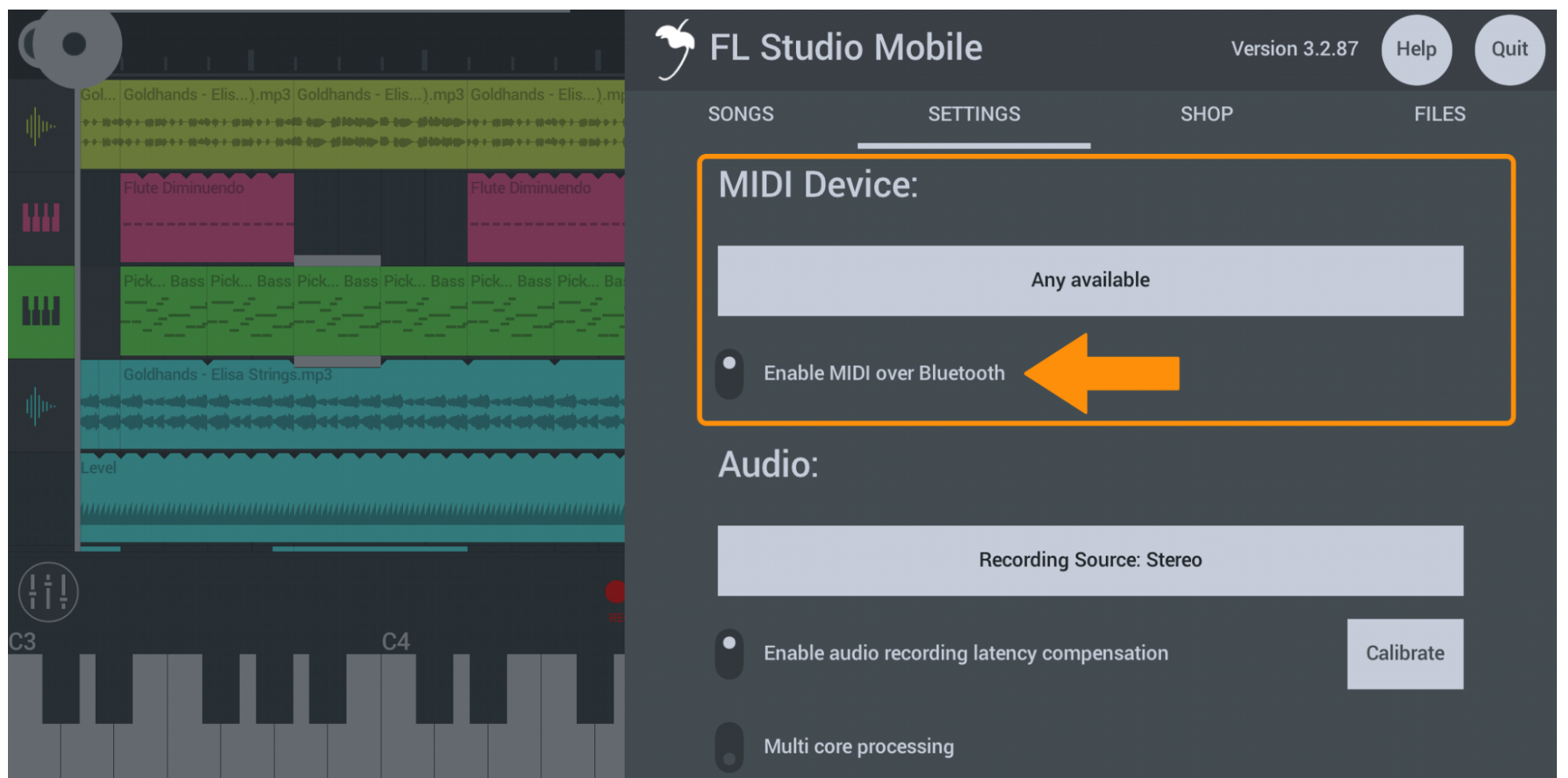
Orbaは、MIDI対応のソフトウェアであれば、どのようなものでも動作します。iOSとは異なり、Android端末と接続する場合はOrbaアプリを介して接続します。

FL Studio Mobileでの接続

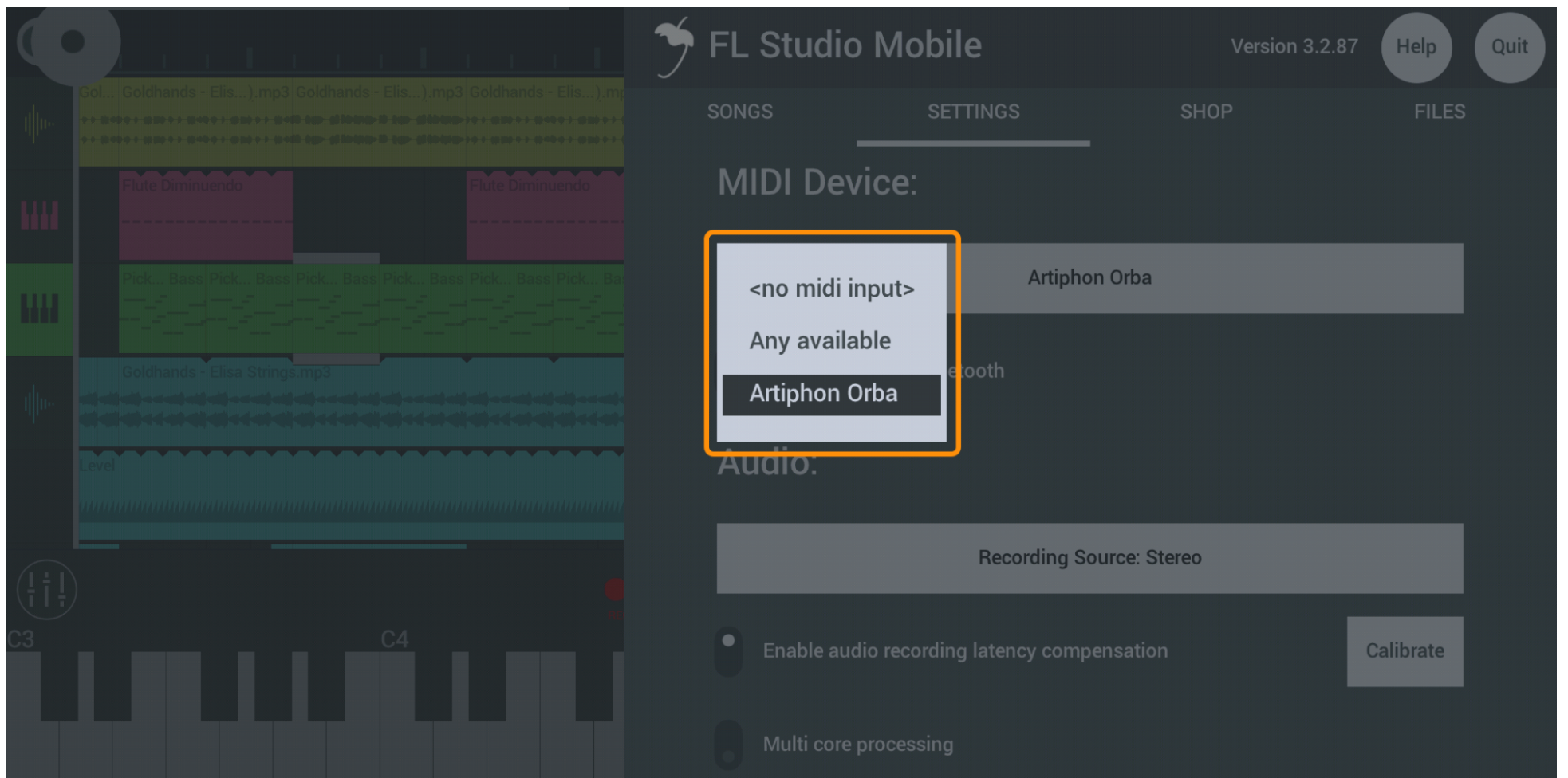
1. 開いているプロジェクトで、画面右上の傘アイコンをタップします。



2. "Enable MIDI over Bluetooth"スイッチをオンにします。



3. MIDIデバイス選択ボタンをタップし、リストからArtiphon Orbaを選択します。Orbaが利用可能なデバイスとして表示されない場合は、Orbaがオンになっていて、他のデバイスに接続されていないことを確認してください。



設定

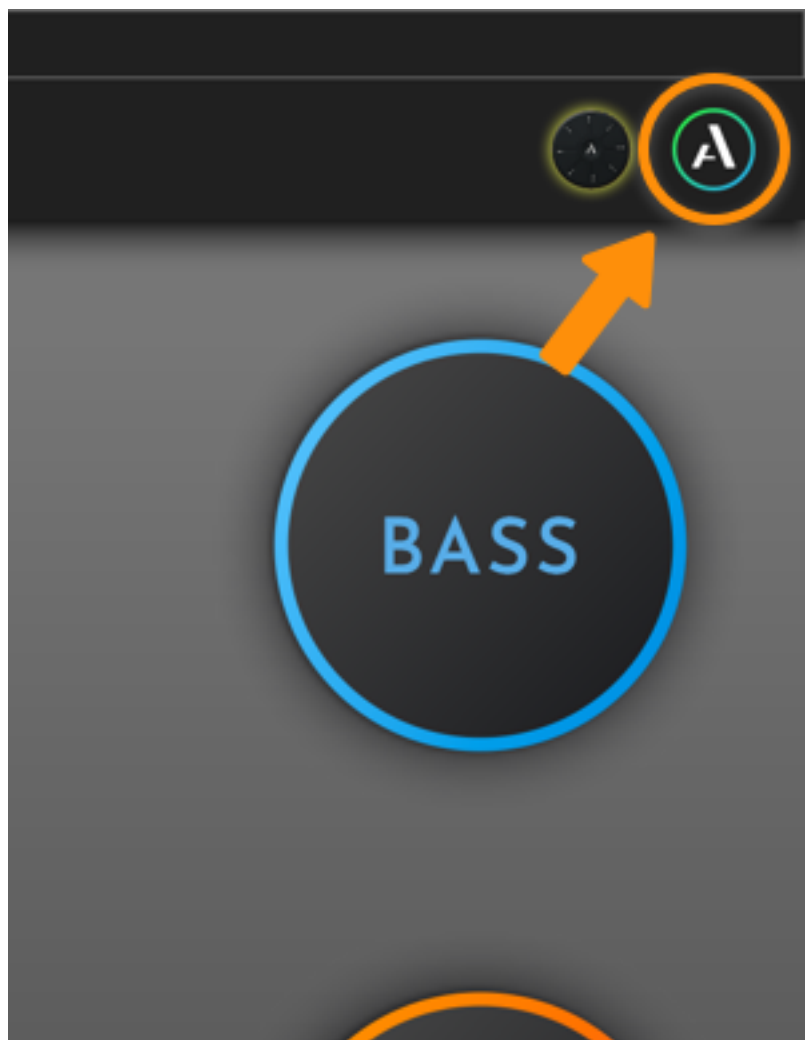
ファームウェア・アップデート

私たちは常に機能を追加し、Orbaを向上させています。ファームウェアを最新の状態に保つことは、このユニークな楽器が提供する最高のものを確実に手に入れるための最良の方法です。

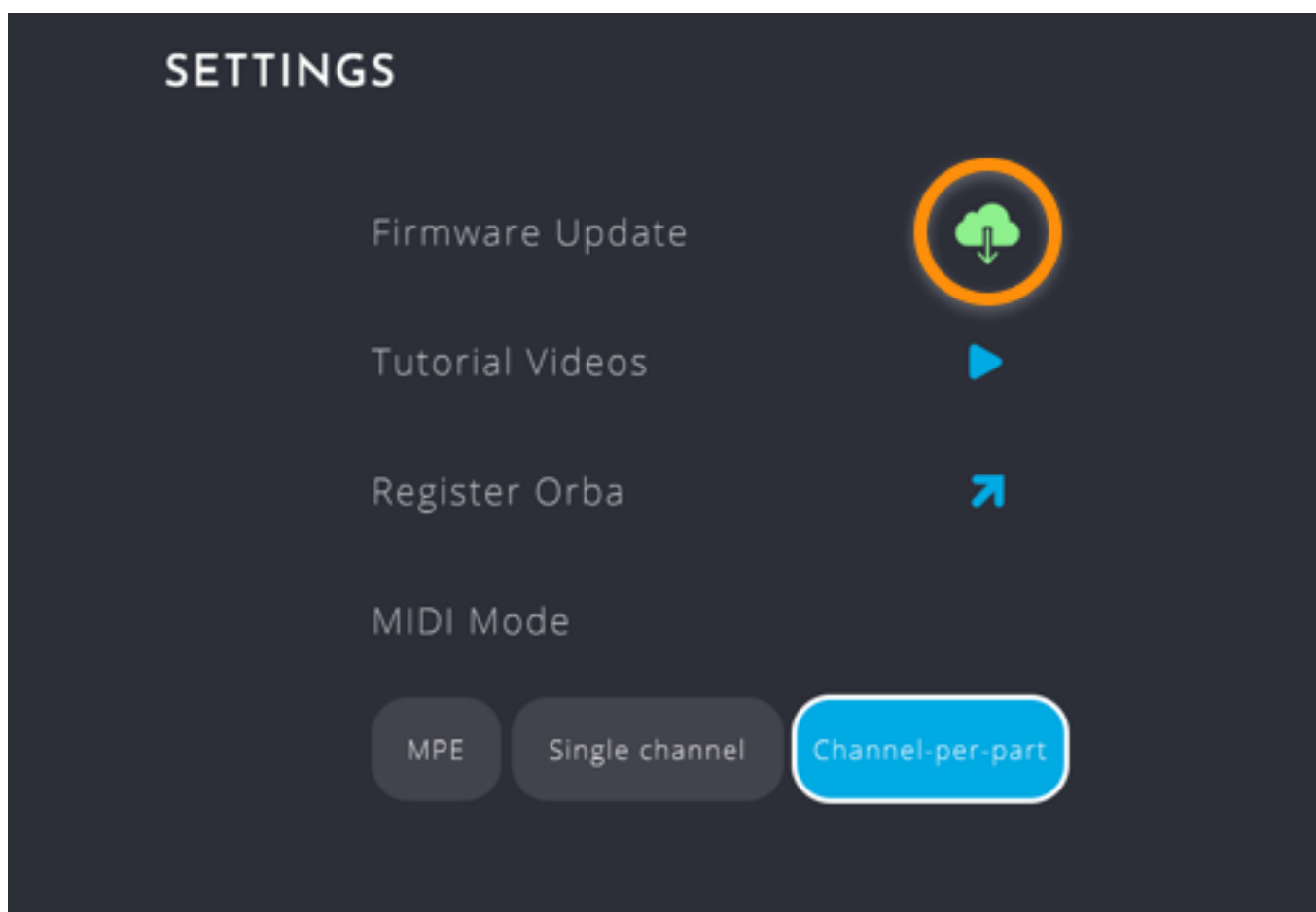
注意: ファームウェアのアップデートは、USB-C接続のOrbaデスクトップアプリからのみ可能です。アプリのダウンロードはこちらからダウンロードできます。[Mac OS X](#) | [Windows](#)

ファームウェア・アップデート手順:

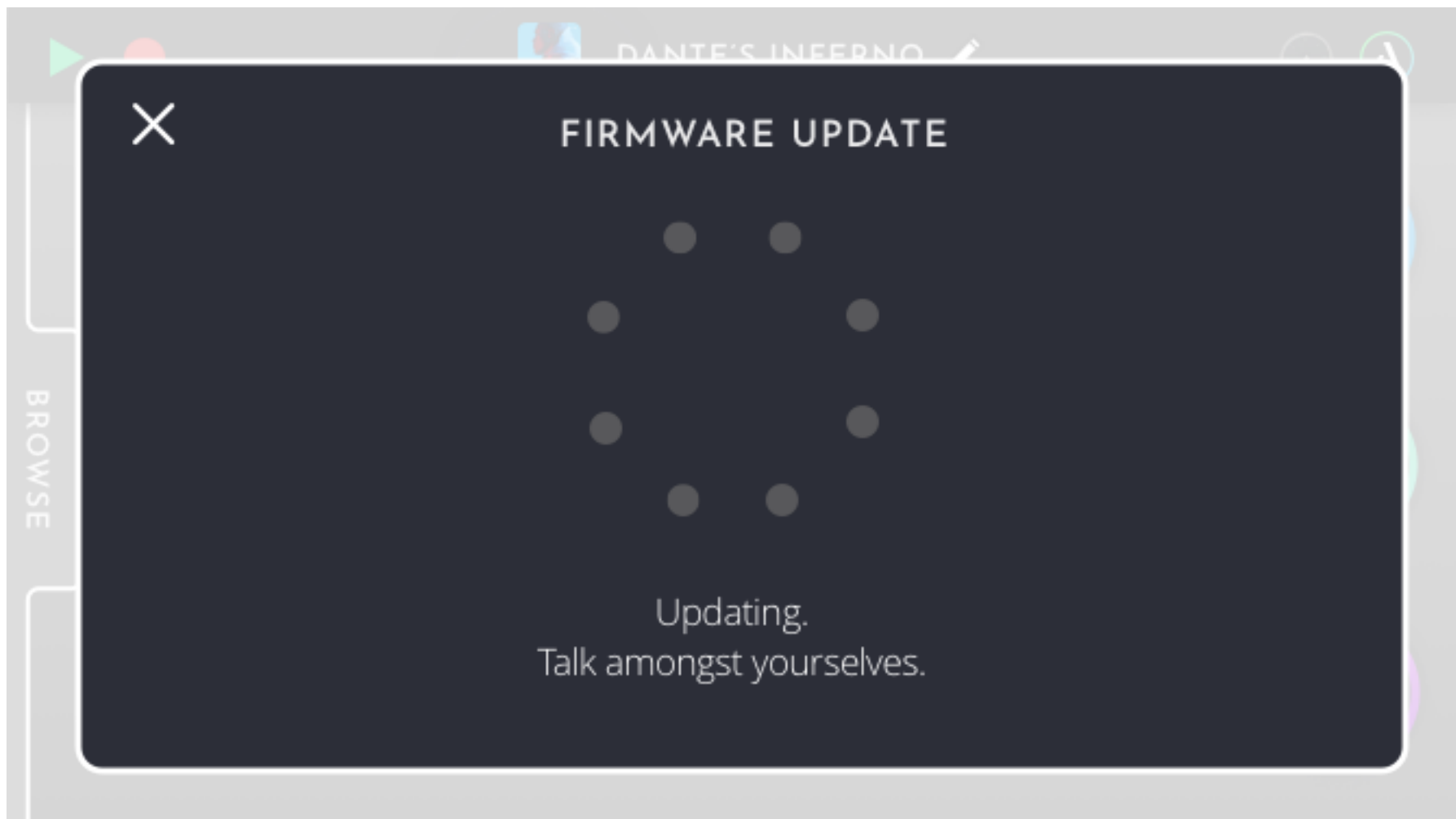
1. 付属のUSB-CケーブルをコンピュータとOrbaに接続します。
2. Orba Appを起動し、画面右上のAアイコンをクリックして設定パネルを開きます。



3. 設定パネルで、“Firmware Update”の横にあるクラウドアイコンをクリックします。ファームウェアがすでに最新バージョンの場合は、このアイコンはグレースアウトされ、選択できなくなります。

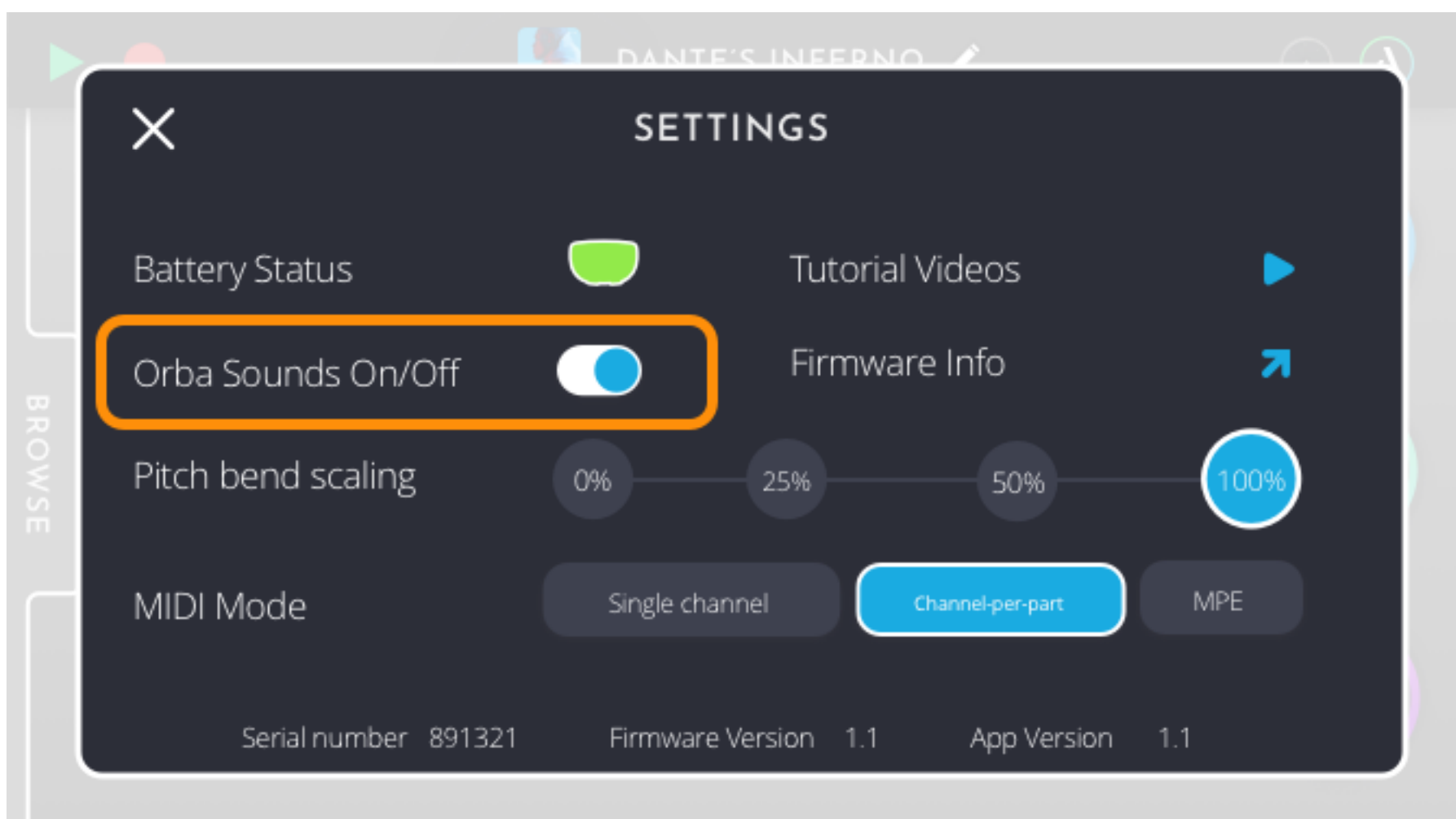


4. あとのアップデート作業はアプリケーションにお任せします！



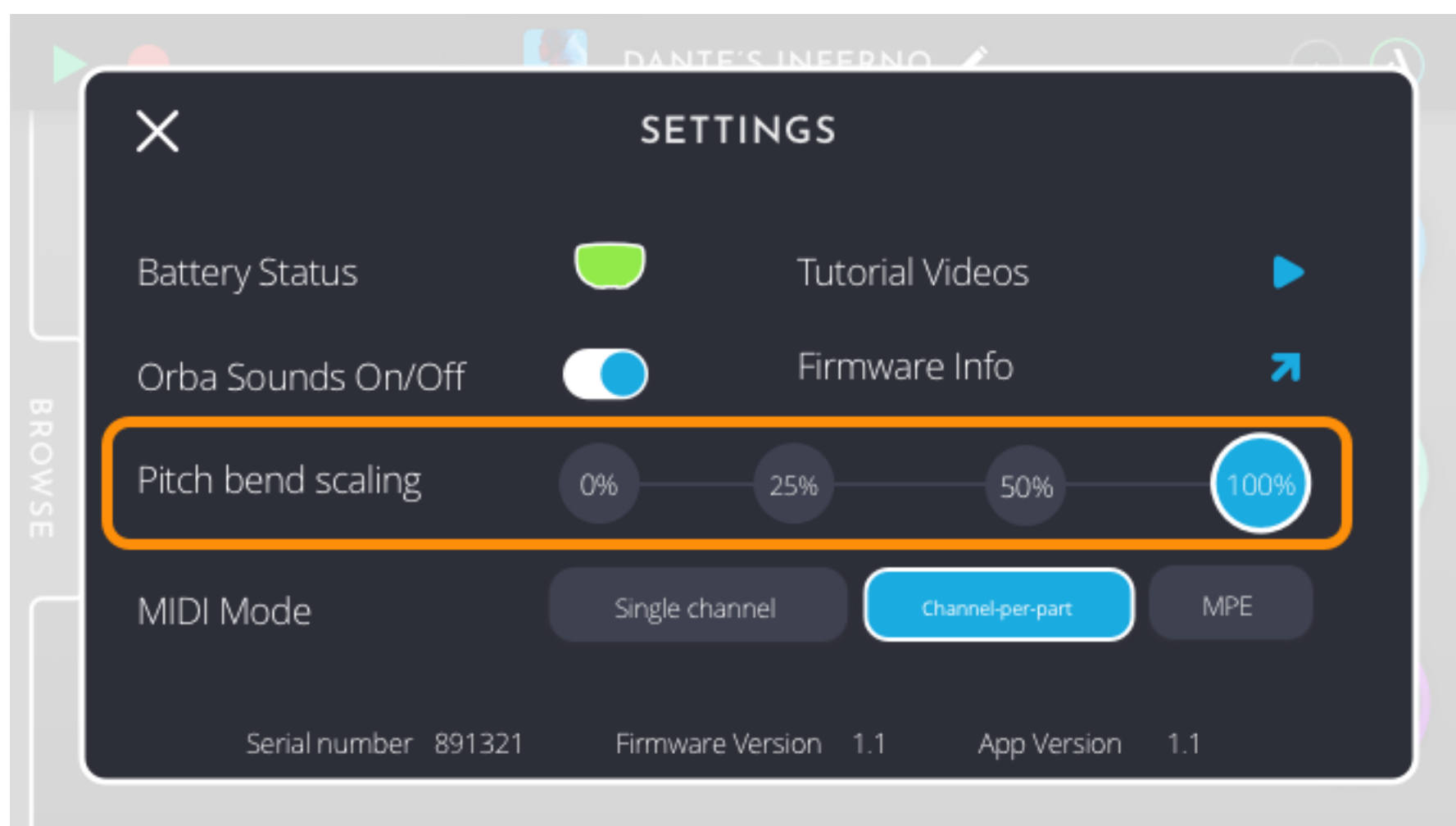
Orba Sounds On/Off

OrbaをMIDIコントローラーとして使用して外部のソフトウェアやハードウェアのサウンドをトリガーする場合、Orbaの内部シンセが外部機器のサウンドと干渉しないように、一時的にOrbaの内部シンセを無効にするとよいでしょう。そうしないと、演奏するたびに2つのサウンドが聞こえてきます（逆に素晴らしい場合もあります！）。これは、Orba Sounds On/Offの設定を切り替えることで可能です。



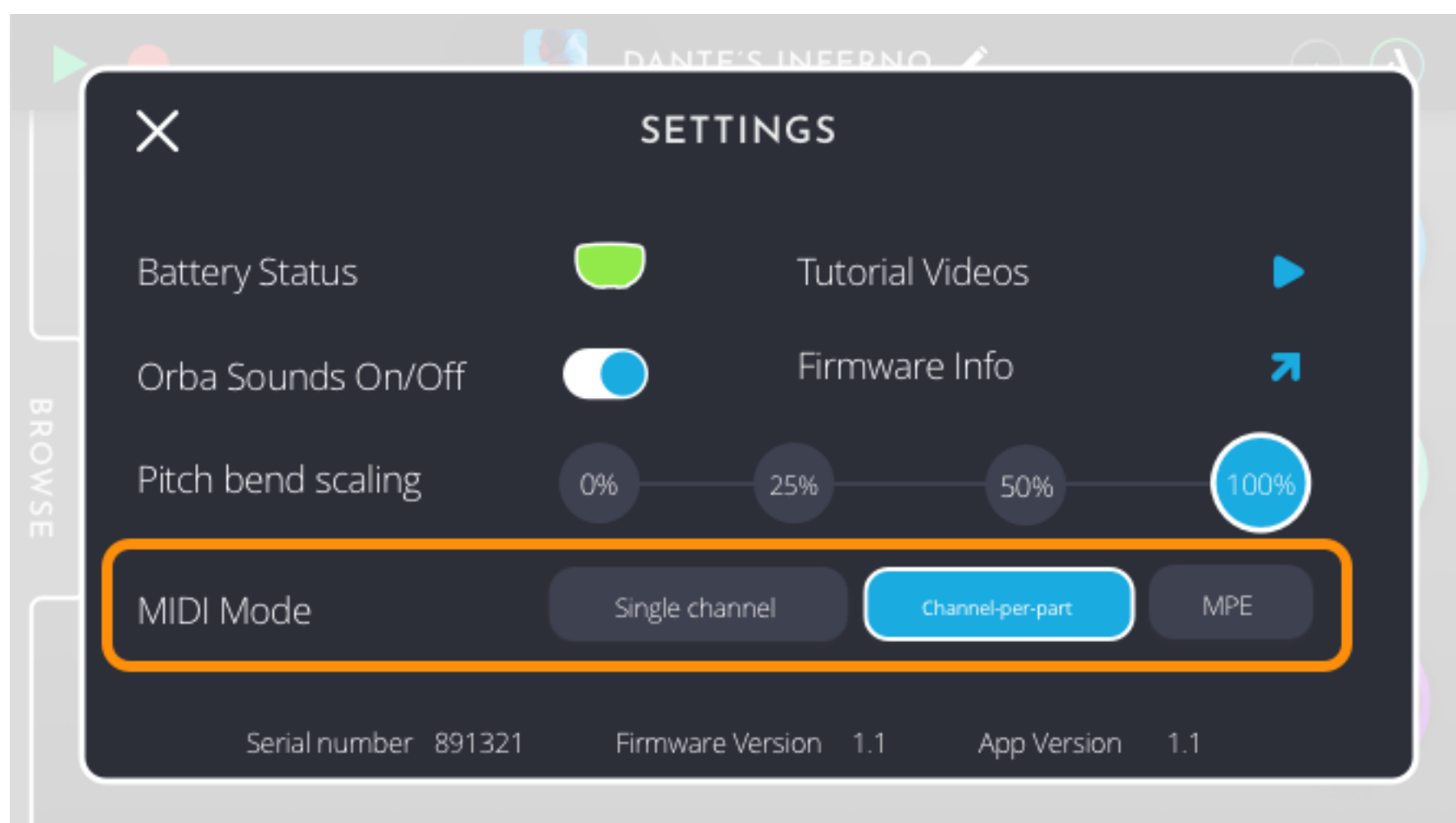
Pitch Bend スケール

OrbaのPitch Bend Scalingの設定をレンジ（0% - 25% - 50% - 100%）で調整します。これは、ビブラート演奏時のピッチシフトの変化率に影響します。



MIDI モード

Orbaは3つの方法でMIDIメッセージを送信するように設定することができます。MPE、シングル・チャンネル、チャンネル-per-パートです。



シングルチャンネル

すべてのノートはMIDIチャンネル1で送信されます。現在アクティブなモードのMIDIノートのみが送信されます。例えば、ドラムモードが選択されている場合、ドラム音のみがMIDIで送信されます。

チャンネル-per-パート

Channel 10	Drum
Channel 1	Bass
Channel 16	Chord
Channel 9	Lead

MPE

MPE (MIDI Polyphonic Expression) とは、プレイヤーが複数のパラメーター (ピッチベンド、アフタータッチ、ビブラート) を音符ごとに独立してコントロールできるようにする方法です。例えば、従来のMIDIキーボードでは、ピッチベンドホイールは一度にすべてのノートに影響を与えます。MPEと互換性のあるコントローラーを使用すると、これらのノートを互いに独立して影響させることができます。

すべてのノートはMPE MIDIとして送信され、各ノートには専用のチャンネルがあり、ノートごとにコントローラを使用することができます。このモードでは、現在アクティブなモードのMIDIノートのみがMIDIで送信されます。例えば、Bassモードが選択されている場合、BassのMIDIノートのみが送信されます。

Midi Implementation Chart

ジェスチャーは特定のMIDIアサインに関連付けられています。以下はデフォルトのMIDI割り当てです。注：これらはロードするプリセットによって異なる場合があります。

GESTURES	MIDI
----------	------

Tap	Note On
Press	Channel Pressure
Vibrato	Pitch Bend
Radiate	CC 74 (Brightness)
Bump	MIDI note 39
Shake	MIDI note 69 and CC2
Move	CC 113
Spin	CC 112
Tilt	CC 1 (Modwheel)
Press "A" button to change mode	Program Change 1-4

デフォルト・ノート・マッピング

各パッドと各モードはそれぞれ独自のMIDIメッセージを送信します。以下はデフォルトの MIDI アサインです。

注：これらは、ロードするプリセットによって異なる場合があります。

DRUM	NOTE	MIDI NUMBER
Pad 1 (Kick)	C1	36
Pad 2 (Snare)	D1	38
Pad 3 (Closed Hi-hat)	F#1	42
Pad 4 (Open Hi-hat/Crash)	C#2	49
Pad 5 (High Tom)	G1	43
Pad 6 (Low Tom)	A1	45
Pad 7 (Ride Cymbal)	D#2	51
Pad 8 (Shaker)	A#3	70
Bump (Clap)	A3	39

BASS	NOTE	MIDI NUMBER
Pad 1	C2	48
Pad 2	D2	50
Pad 3	E2	52
Pad 4	F2	53
Pad 5	G2	55
Pad 6	A2	57
Pad 7	B2	59

Pad 8	C3	60
-------	----	----

CHORD	NOTES	MIDI NUMBER
Pad 1	C2, G2, C3, E3	48, 55, 60, 64
Pad 2	D2, A2, D3, F3	50, 57, 62, 65
Pad 3	E2, B2, E3, G3	52, 59, 64, 67
Pad 4	F2, A2, C3, A3	53, 57, 60, 69
Pad 5	G2, B2, D3, G3	55, 59, 62, 67
Pad 6	A2, C3, E3, A3	57, 60, 64, 69
Pad 7	G2, B2, D3, B3	59, 62, 71, 55
Pad 8	G2, C3, E3, C4	60, 64, 72, 55

LEAD	NOTE	MIDI NUMBER
Pad 1	C3	60
Pad 2	D3	62
Pad 3	E3	64
Pad 4	G3	67
Pad 5	A3	69
Pad 6	C4	72
Pad 7	D4	74
Pad 8	E4	76

Specifications

製品名	Orba
同梱品	Orba、USB-C to USB-A ケーブル、Quick Start Guide
I/O	USB-C (USB 2.0 Class Compliant Audio/Midi) 3.5mm (1/8") TRS Analog Headphone Stereo Out)
Bluetooth	Bluetooth LE MIDI
スピーカー	3W built-in active speaker system
バッテリー	Lithium Polymer Battery 1250 mAH 4h average operating time 80% capacity after 300 charging cycles

対応温度	0 Degrees Celsius - 45 Degrees Celsius
タッチセンシティブ・パッド	8 Pads can be used with different gestures. Tap, Press, Vibrato, Radiate, Hover, Slide, Hold, Palm, Hold
IMU - Accelerometer	Modulation and controllers: Tilt, Spin, Lift, Shake, Bump, Move, Wave
Haptic Engine	Tactile feedback with sounds and metronome
Looper	Four track MIDI looper
Modes	Four on-board modes: Drum, Bass, Chord, Lead
Sound Engine	4 part polyphonic synthesizer with subtractive and physical modeling synths 9 voices + drums
対応 App	iOS、 Android、 Mac、 Windows